

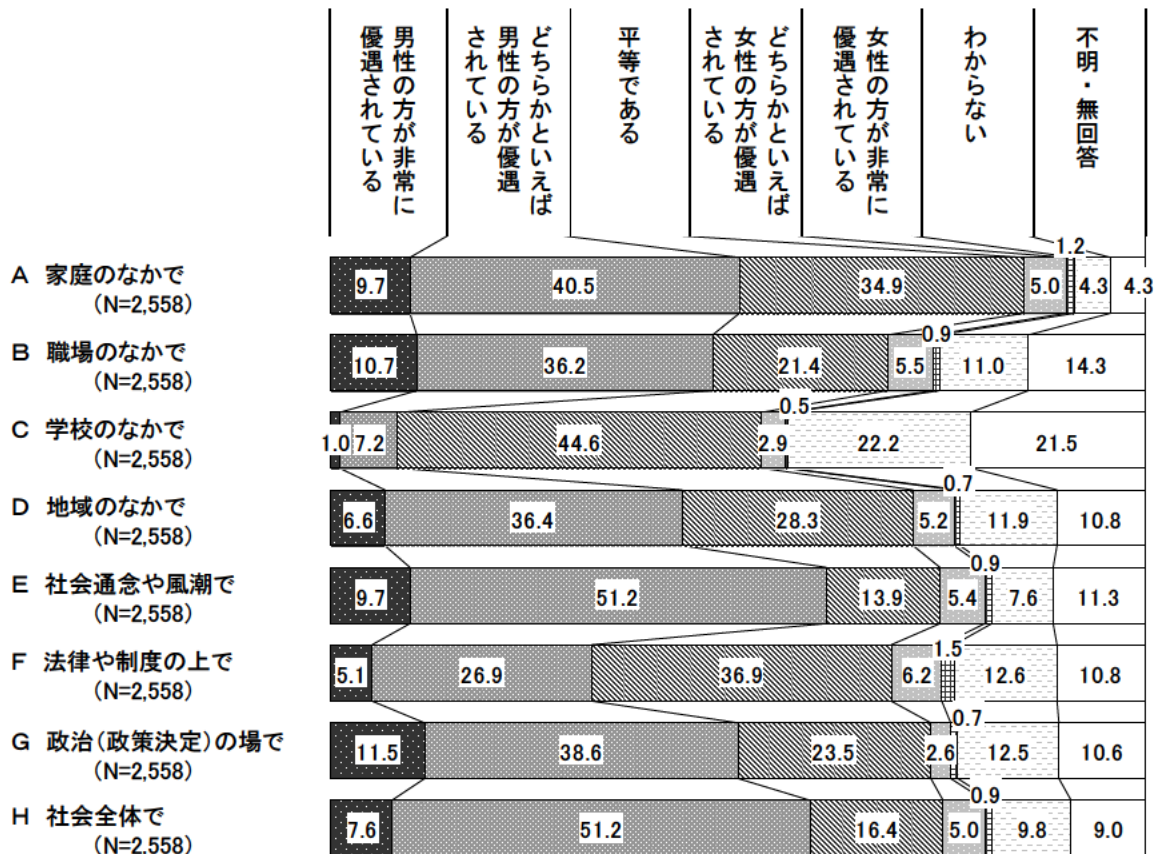
Ⅲ 調査結果

1 男女平等について

(1) 男女の地位評価

問1. あなたは、次にあげるA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。A～Hのそれぞれについて1つずつ選んで○印をつけてください。

問1 男女の地位評価 A～Hの分野別比較 【全体】



単位：%

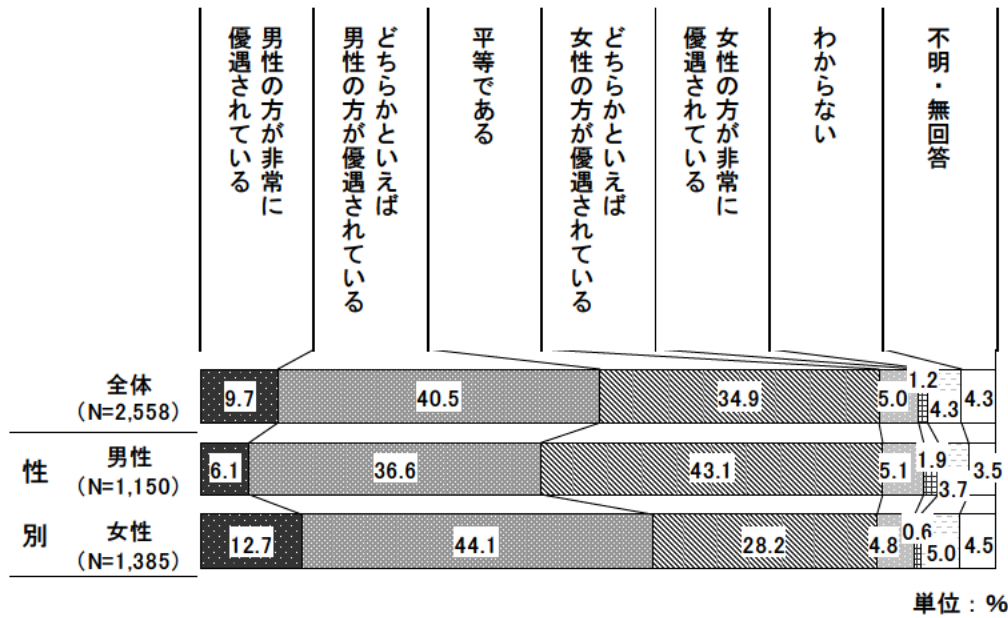
- 分野別の男女の地位評価を比較すると、「C 学校のなかで」を除く分野は、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が高い結果となっています。

特に「E 社会通念や風潮で」、「H 社会全体で」については、6割前後の人が『男性の方が優遇されている』と答えています。また、「A 家庭のなかで」、「G 政治(政策決定)の場で」についても、5割以上の人が『男性の方が優遇されている』と答えています。

「C 学校のなかで」については、「平等である」(44.6%)と答えた人の割合が最も高く、『男性の方が優遇されている』(8.2%)と答えた人の割合は、他の分野と比べて低くなっています。

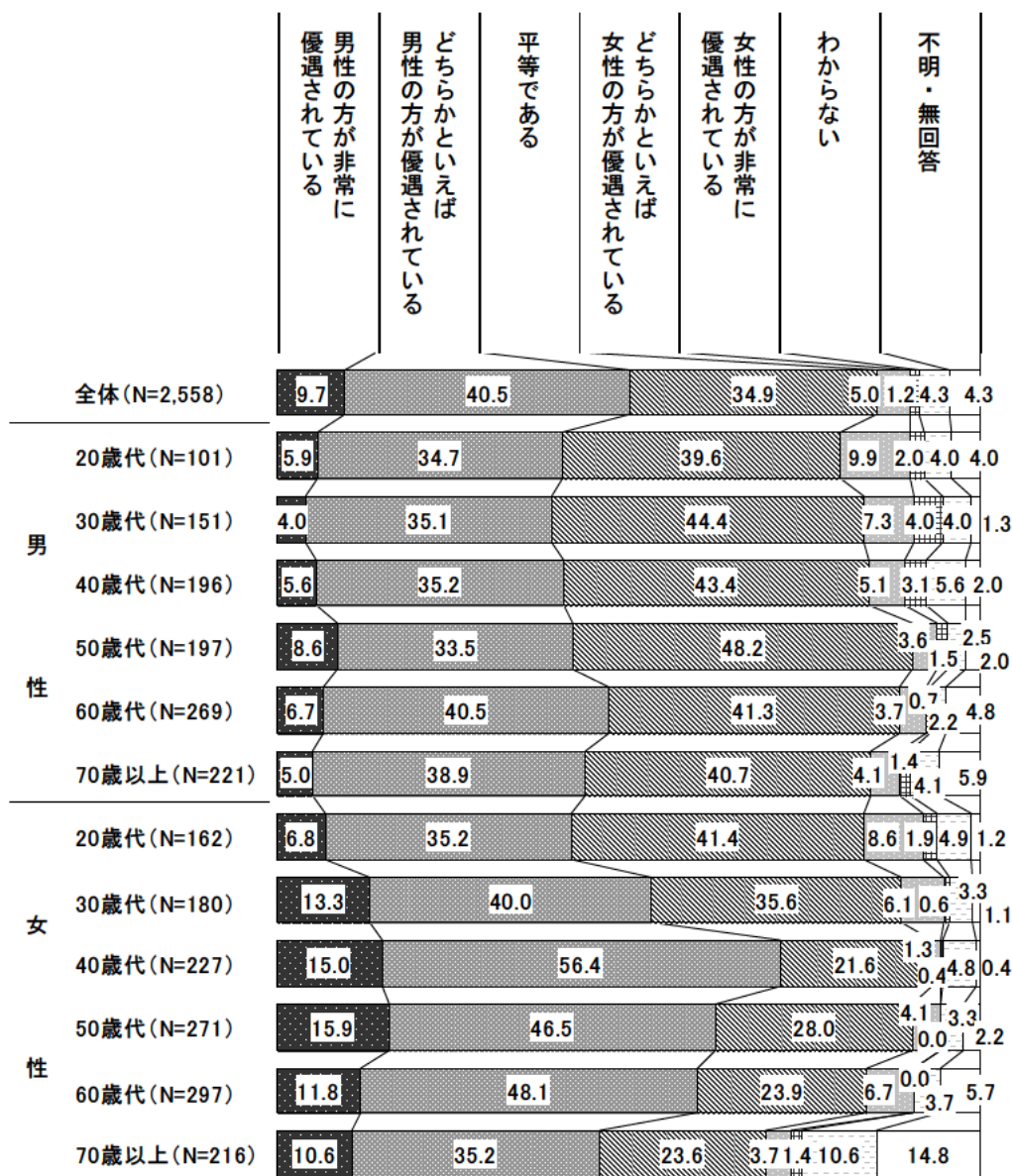
※『男性の方が優遇されている』は、本来の選択肢の「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合を合計したものです。『女性の方が優遇されている』は、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合を合計したものです。以降のページも同様。

問1 男女の地位評価 A 家庭のなかで 【全体／性別】



- 全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は 50.2%で5割程度となっています。「平等である」と答えた人の割合は 34.9%となっています。
- 性別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（56.8%）が男性（42.7%）を 14.1 ポイント上回っています。

問1 男女の地位評価 A 家庭のなかで 【性別・年代別】

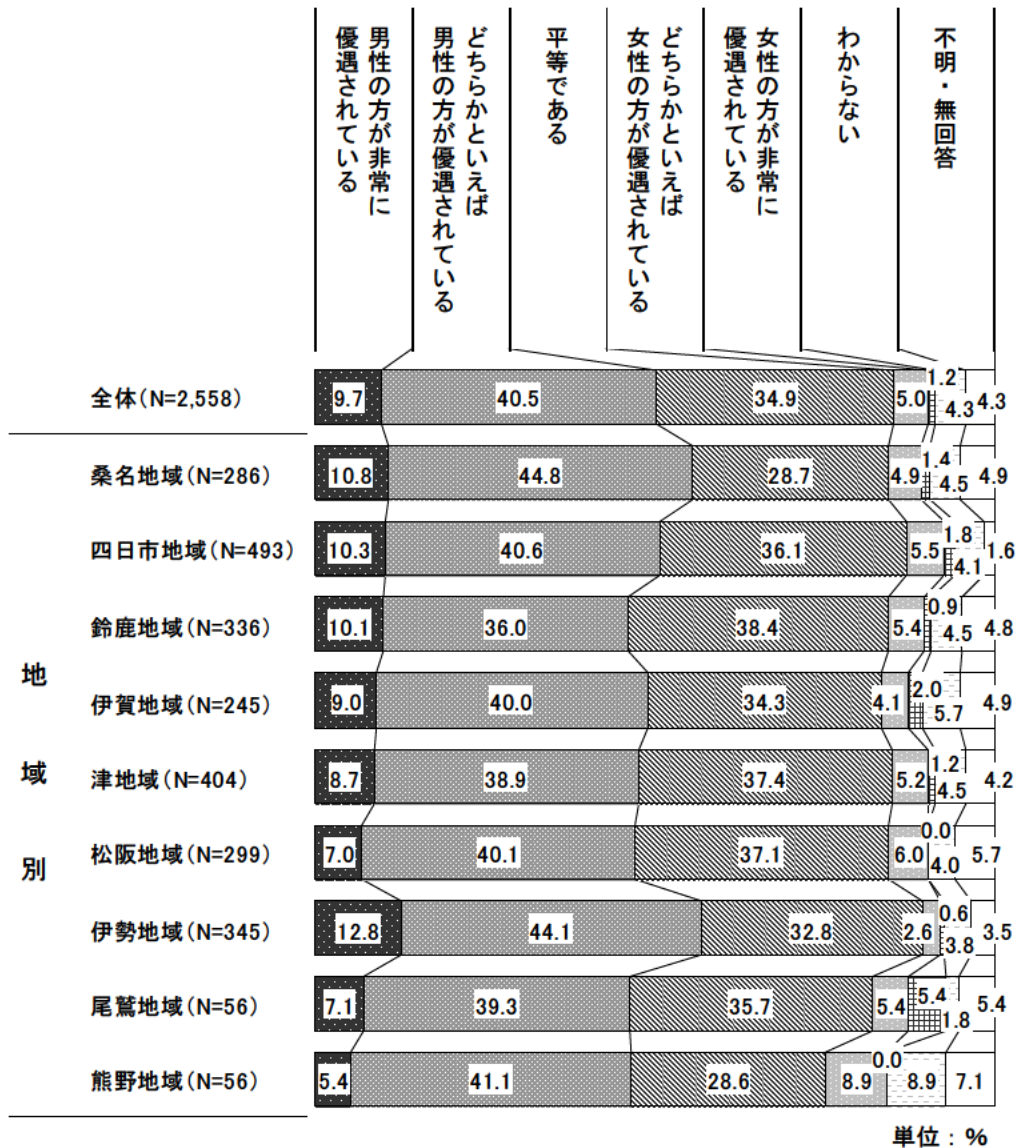


単位：%

- 性・年代別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代(71.4%)が7割以上と高く、次いで女性の50歳代(62.4%)、60歳代(59.9%)、30歳代(53.3%)の順となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、男性の50歳代(48.2%)が最も高く、女性の40歳代(21.6%)が最も低い結果となっています。

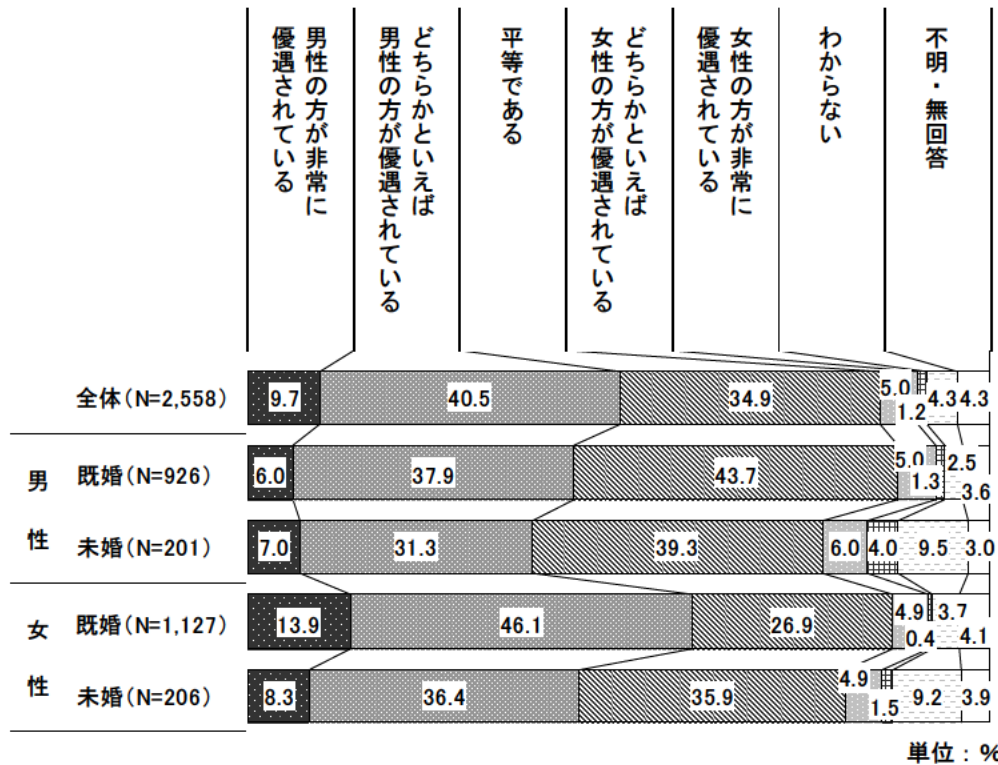
問1 男女の地位評価 A 家庭のなかで 【地域別】



● 地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、伊勢地域（56.9%）が最も高く、次いで桑名地域（55.6%）の順となっています。

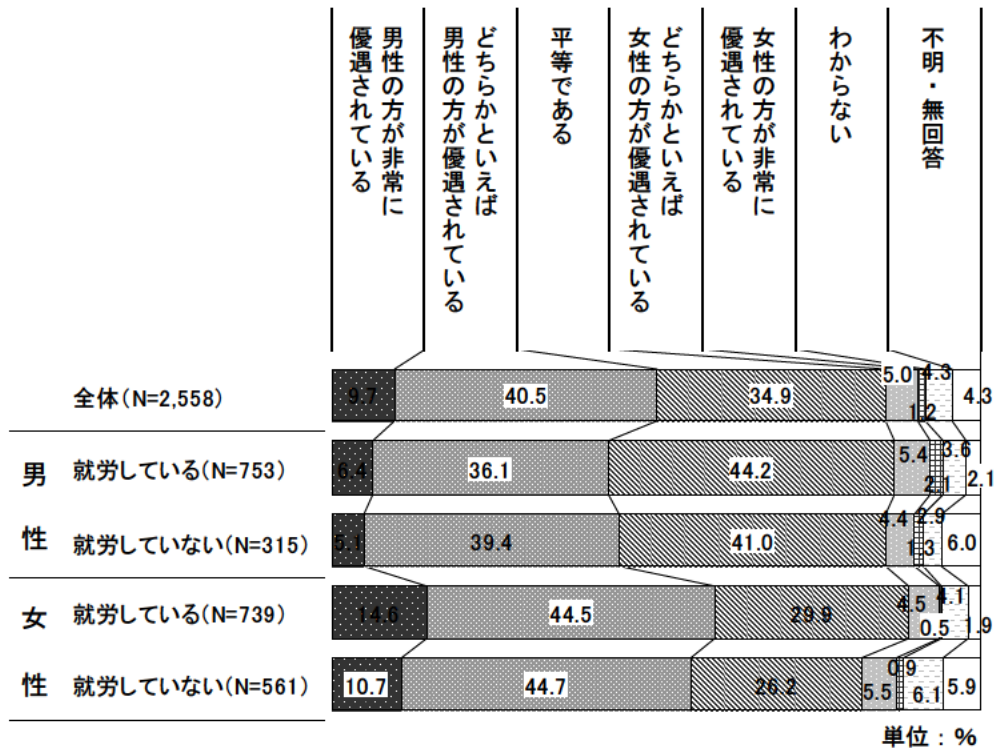
「平等である」と答えた人の割合は、鈴鹿地域（38.4%）が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 A 家庭のなかで 【性別・婚姻状況別】



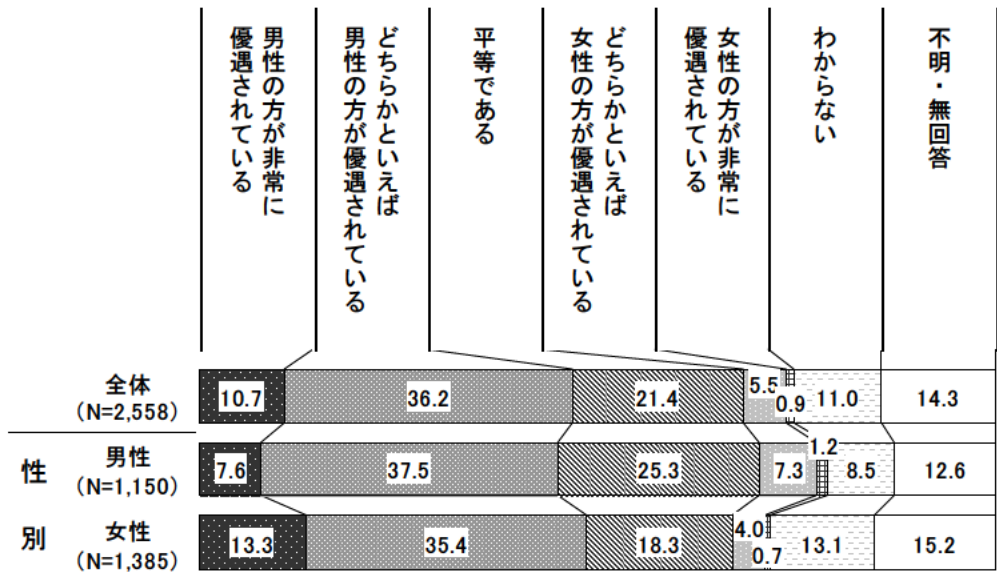
- 性・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の既婚者（60.0%）が最も高い結果となっています。
「平等である」と答えた人の割合は、男性の既婚者（43.7%）が最も高くなっています。

問1 男女の地位評価 A 家庭のなかで 【性別・就労状況別】



- 性別・就労状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の就労している（59.1%）が最も高い結果となっています。
「平等である」と答えた人の割合は、男性の就労している（44.2%）が最も高くなっています。

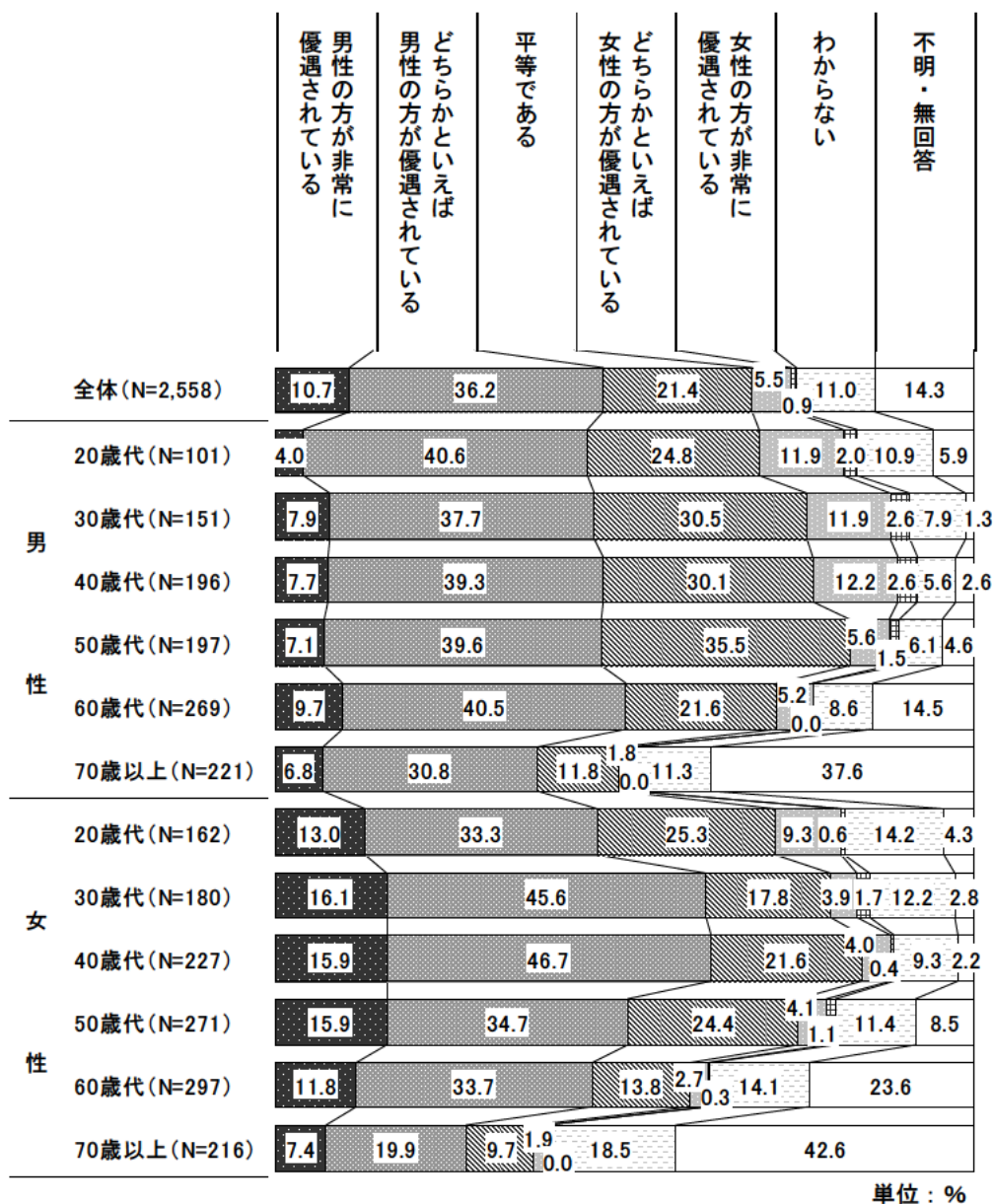
問1 男女の地位評価 B 職場のなかで 【全体／性別】



単位：%

- 全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は46.9%となっています。「平等である」と答えた人の割合は21.4%となっています。
- 性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（48.7%）が男性（45.1%）を3.6ポイント上回っています。
「平等である」と答えた人の割合は、男性（25.3%）が女性（18.3%）を上回っています。

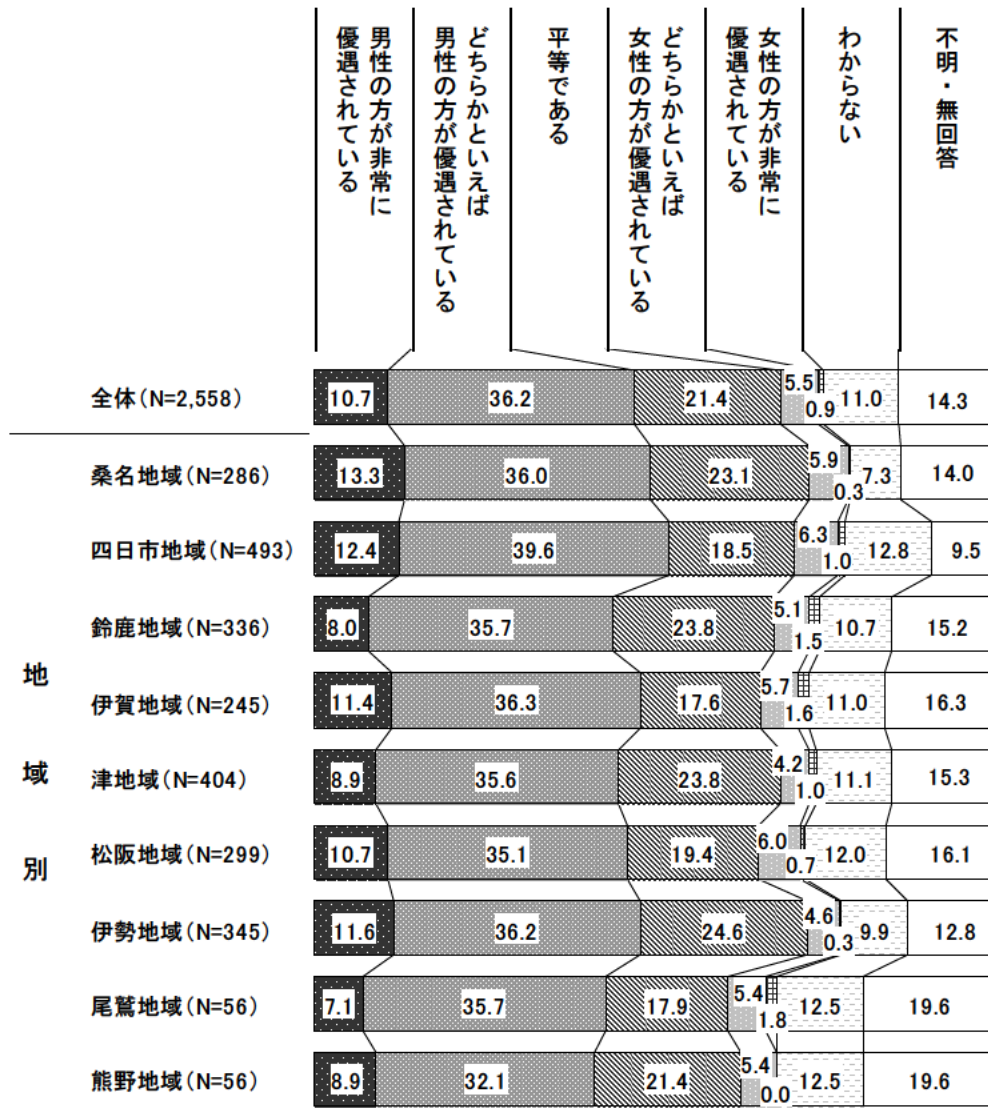
問1 男女の地位評価 B 職場のなかで 【性別・年代別】



● 性・年代別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代（62.6%）が最も高く、次いで、女性の30歳代（61.7%）、50歳代（50.6%）の順となっています。

また、女性の30歳代、40歳代、50歳代では、「男性の方が非常に優遇されている」と答えた人の割合が高くなっています。

問1 男女の地位評価 B 職場のなかで 【地域別】

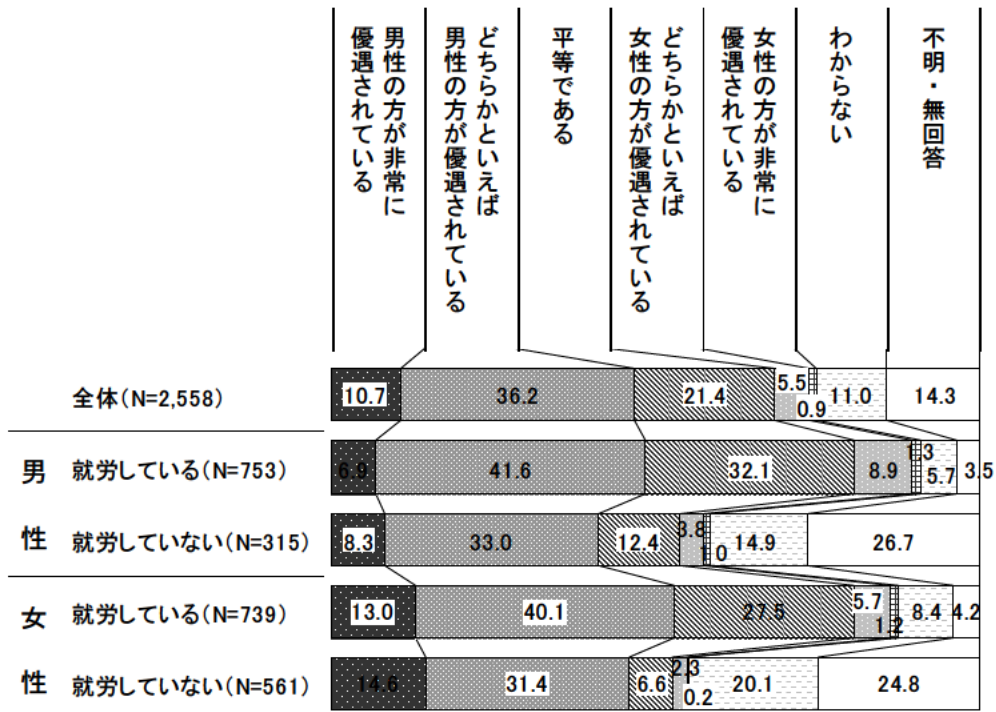


単位：%

● 地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、四日市地域（52.0%）が5割を超え、最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、伊勢地域（24.6%）が最も高い結果となっています。

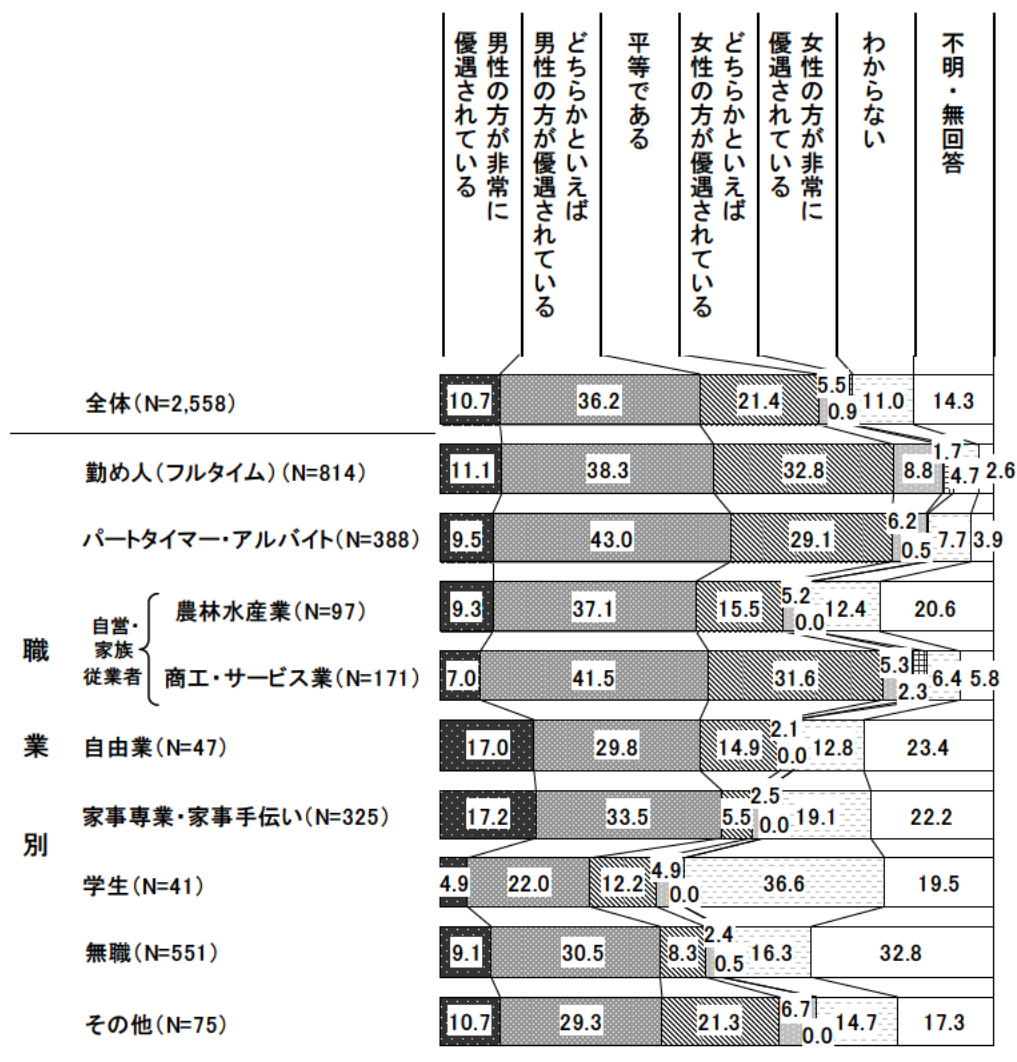
問1 男女の地位評価 B 職場のなかで 【性別・就労状況別】



単位：%

- 性別・就労状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の就労している（53.1%）が最も高い結果となっています。
 「平等である」と答えた人の割合は、男性の就労している（32.1%）が3割を超え、高くなっています。

問1 男女の地位評価 B 職場のなかで 【職業別】



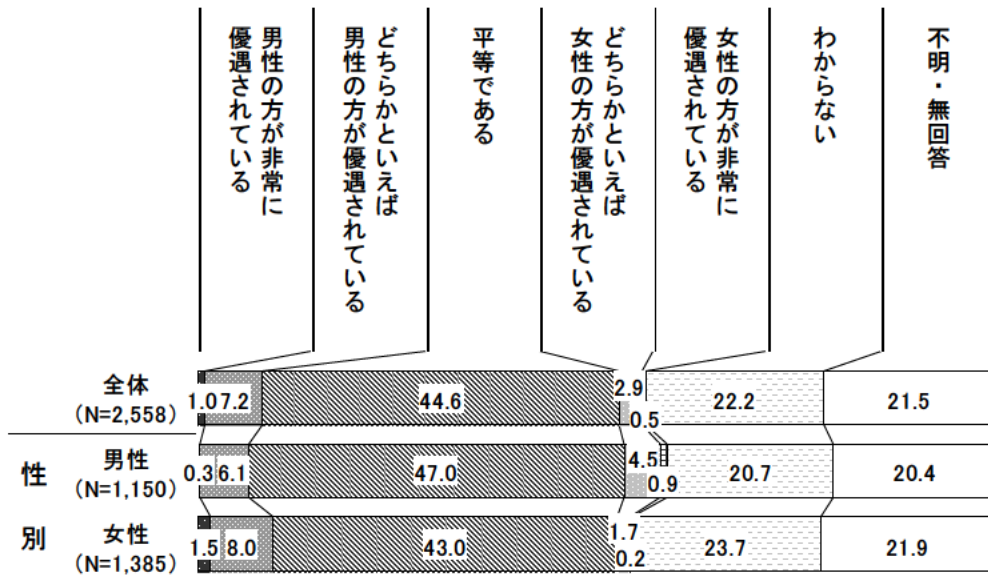
単位：%

● 職業別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、パートタイマー・アルバイト（52.5%）が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、勤め人（フルタイム）（32.8%）、商工・サービス業（31.6%）が3割を超え、高くなっています。

※自由業、学生、その他は件数が少ないため、分析対象から除いています。

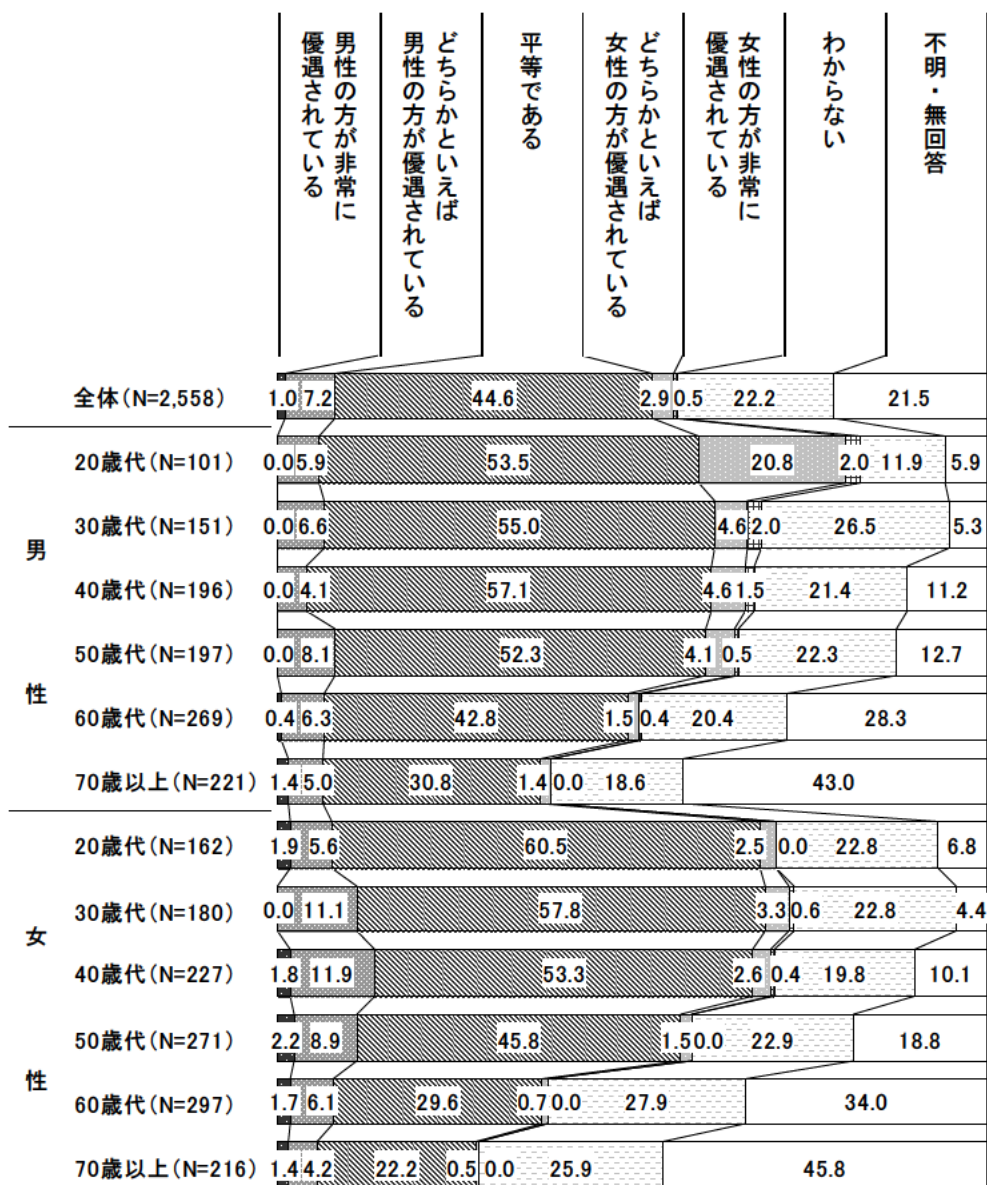
問1 男女の地位評価 C 学校のなかで 【全体/性別】



単位：%

- 全体では、「平等である」が44.6%で最も高い結果となっています。
- 性別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性(9.5%)が男性(6.4%)をわずかに上回っています。

問1 男女の地位評価 C 学校のなかで 【性別・年代別】

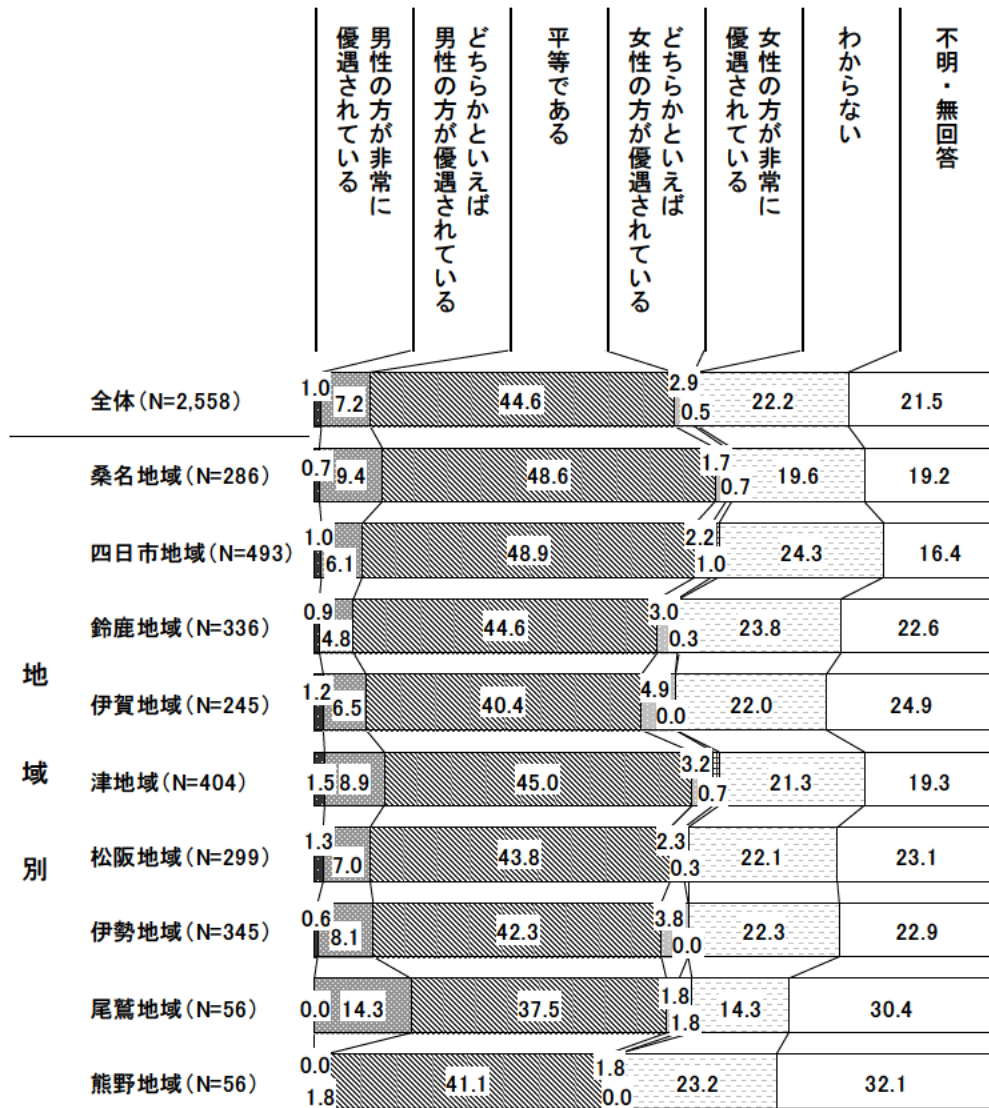


単位：%

● 性・年代別でみると、「平等である」と答えた人の割合は、女性の20歳代（60.5%）が6割を超え、高くなっています。

『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の30歳代（11.1%）、40歳代（13.7%）、50歳代（11.1%）が1割以上となっています。

問1 男女の地位評価 C 学校のなかで 【地域別】

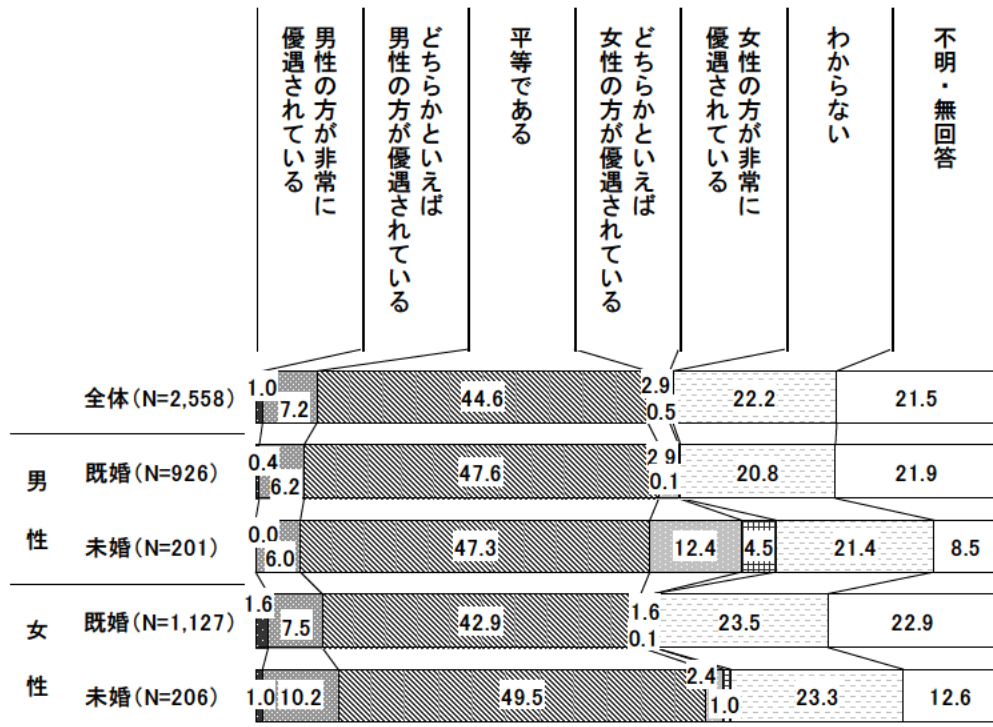


単位：%

● 地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、尾鷲地域（14.3%）が最も高い結果となっています。

「平等である」と答えた人の割合は、四日市地域（48.9%）が最も高い結果となっています。

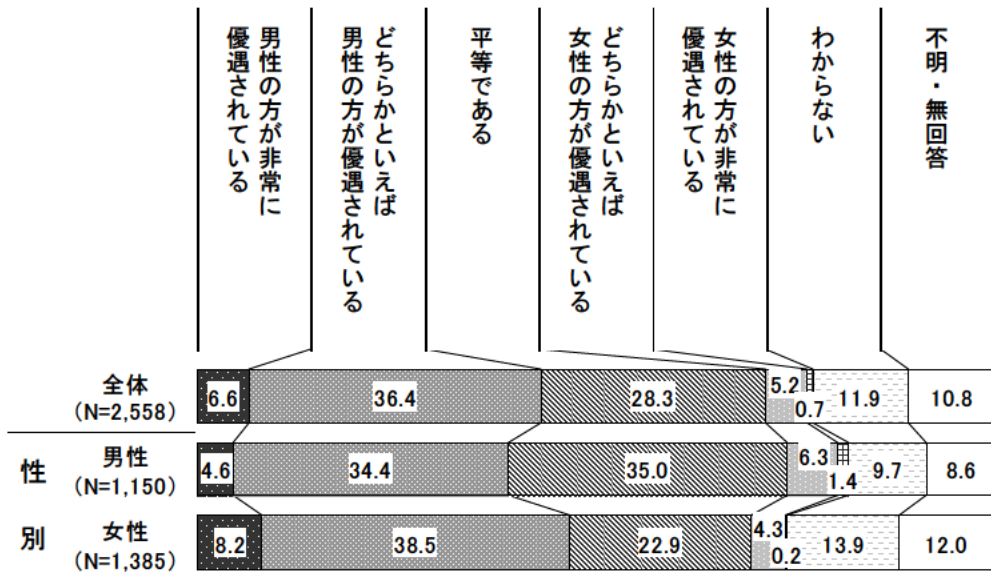
問1 男女の地位評価 C 学校のなかで 【性別・婚姻状況別】



単位：%

- 性・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の未婚者（11.2%）が最も高い結果となっています。
『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の未婚者（16.9%）が最も高い結果となっています。

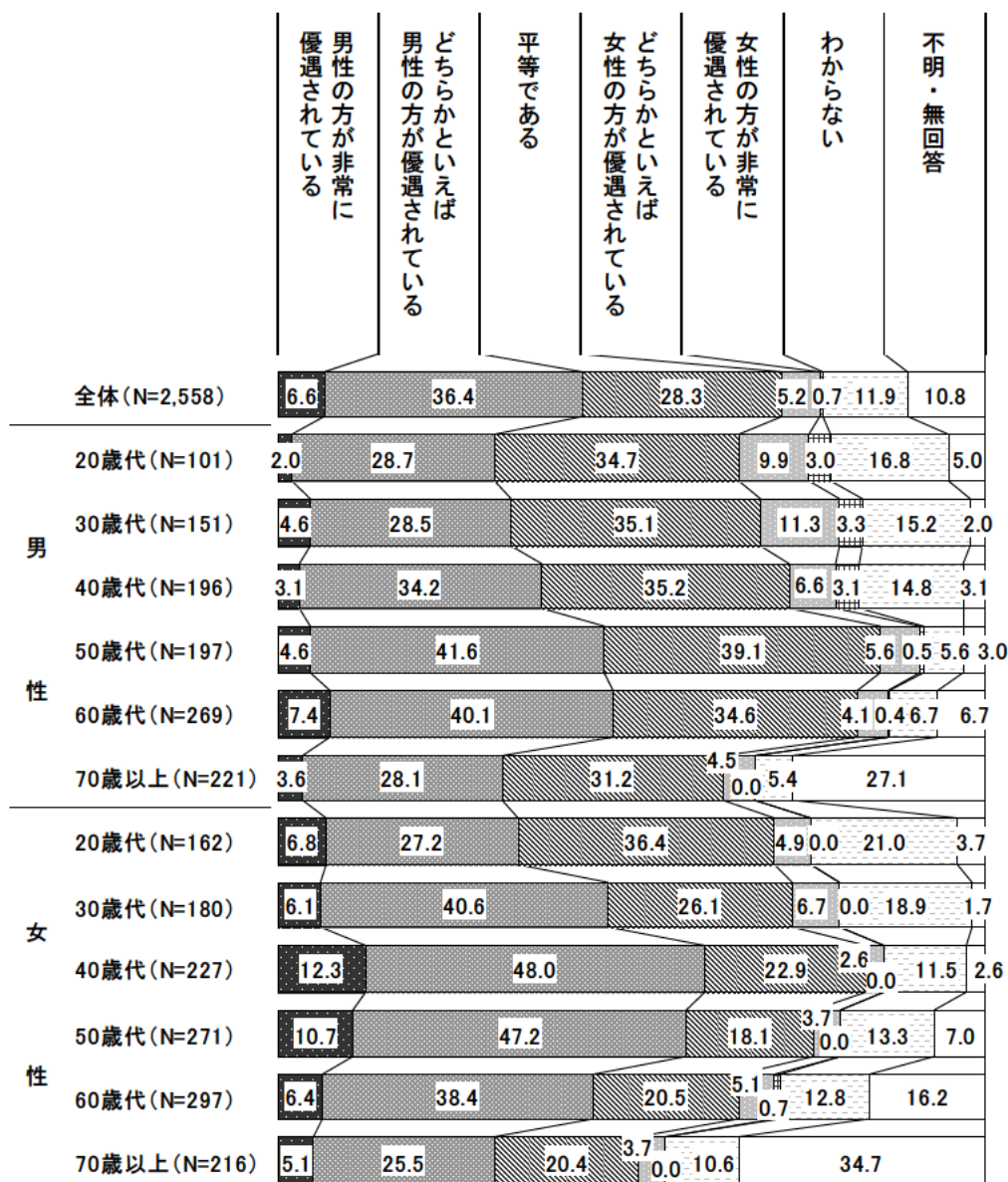
問1 男女の地位評価 D 地域のなかで 【全体／性別】



単位：%

- 全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が 43.0%で高い結果となっています。
- 性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（46.7%）が男性（39.0%）を 7.7 ポイント上回っています。

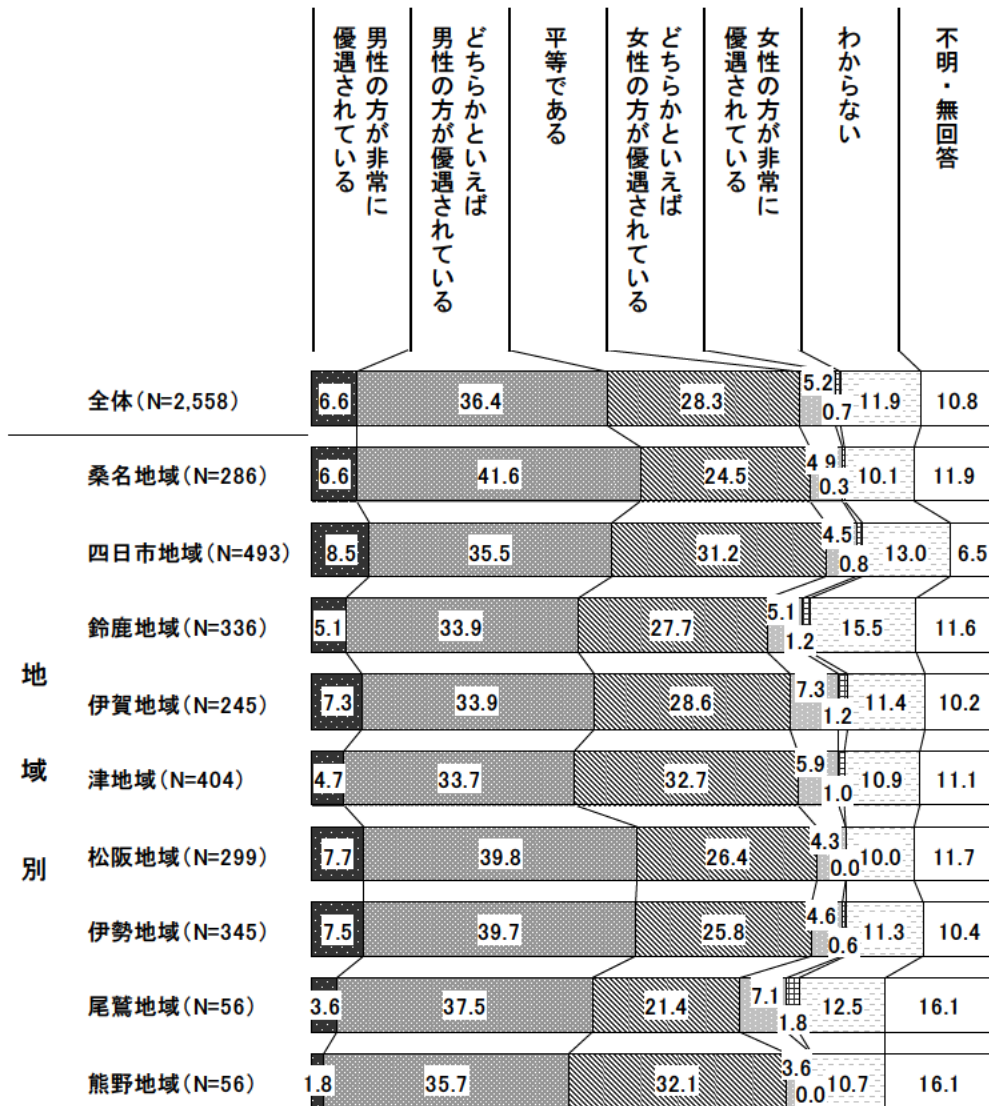
問1 男女の地位評価 D 地域のなかで 【性別・年代別】



単位：%

- 性・年代別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代(60.3%)が6割を超えて最も高く、50歳代(57.9%)も5割以上となっています。

問1 男女の地位評価 D 地域のなかで 【地域別】

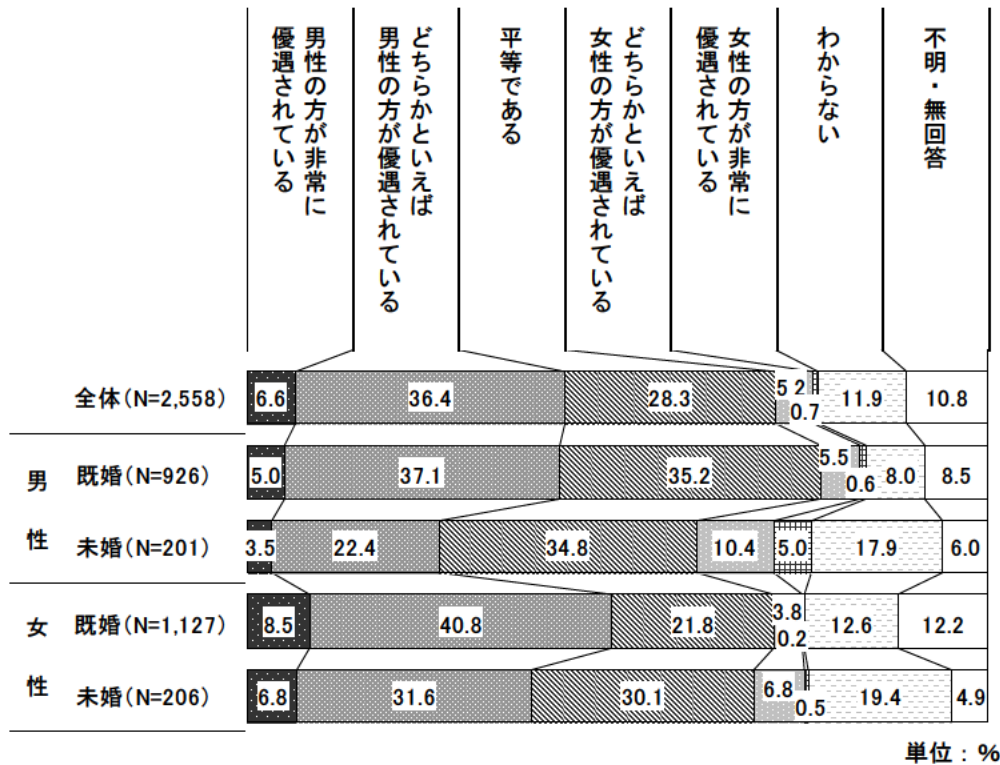


単位：%

● 地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、桑名地域（48.2%）、松阪地域（47.5%）、伊勢地域（47.2%）が高い結果となっています。

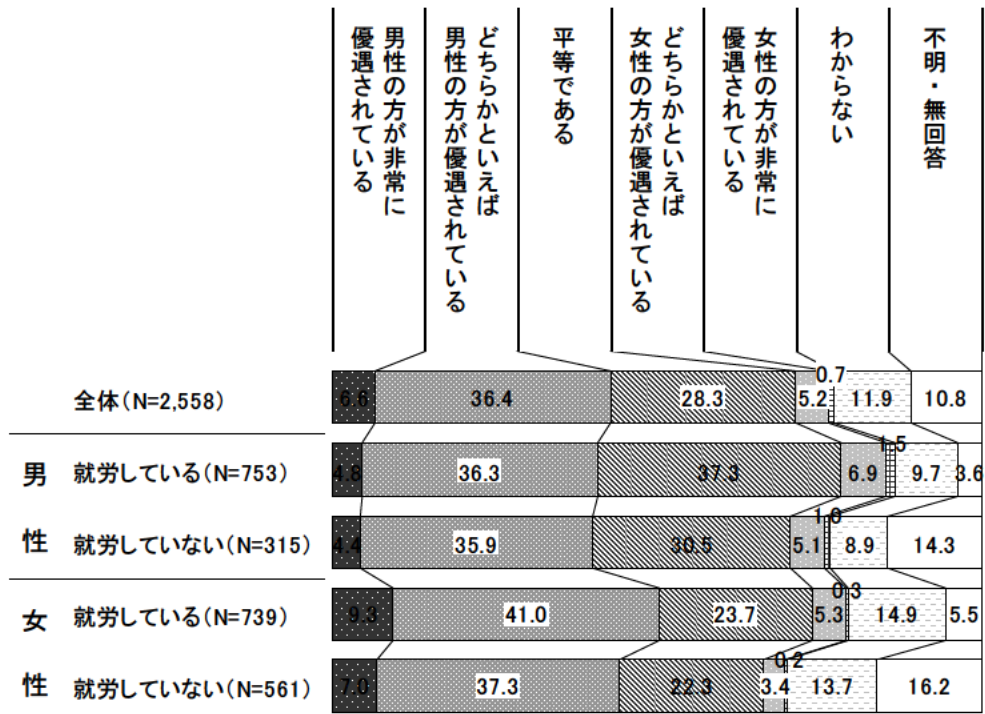
「平等である」と答えた人の割合は、津地域（32.7%）が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 D 地域のなかで 【性別・婚姻状況別】



- 性・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の既婚者（49.3%）が最も高い結果となっています。
『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の未婚者（15.4%）が最も高い結果となっています。
「平等である」と答えた人の割合は、女性の既婚者（21.8%）が最も低くなっています。

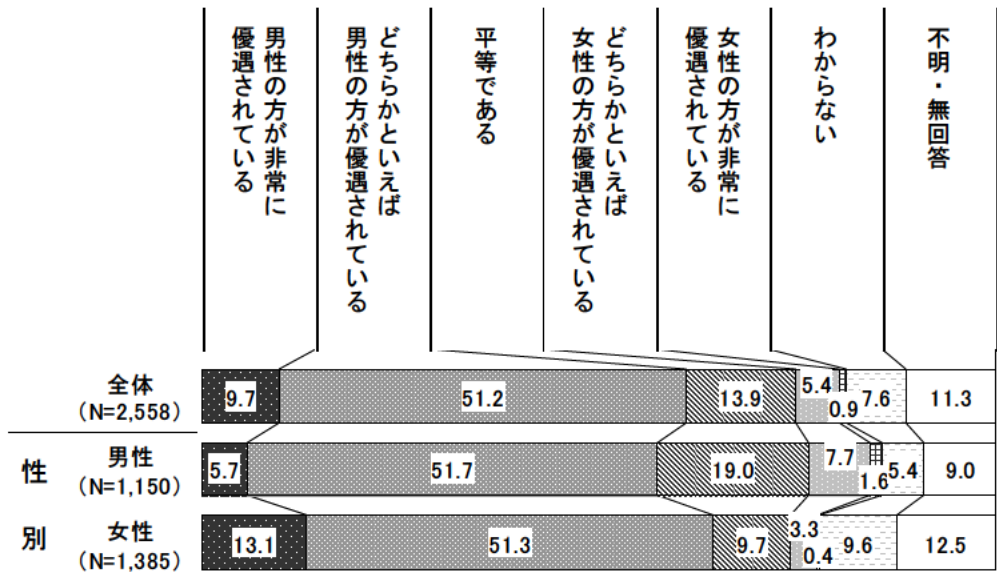
問1 男女の地位評価 D 地域のなかで 【性別・就労状況別】



単位：%

- 性別・就労状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の就労している（50.3%）が最も高い結果となっています。
『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の就労している（8.4%）が最も高い結果となっています。
「平等である」と答えた人の割合は、男性の就労している（37.3%）が最も高くなっています。

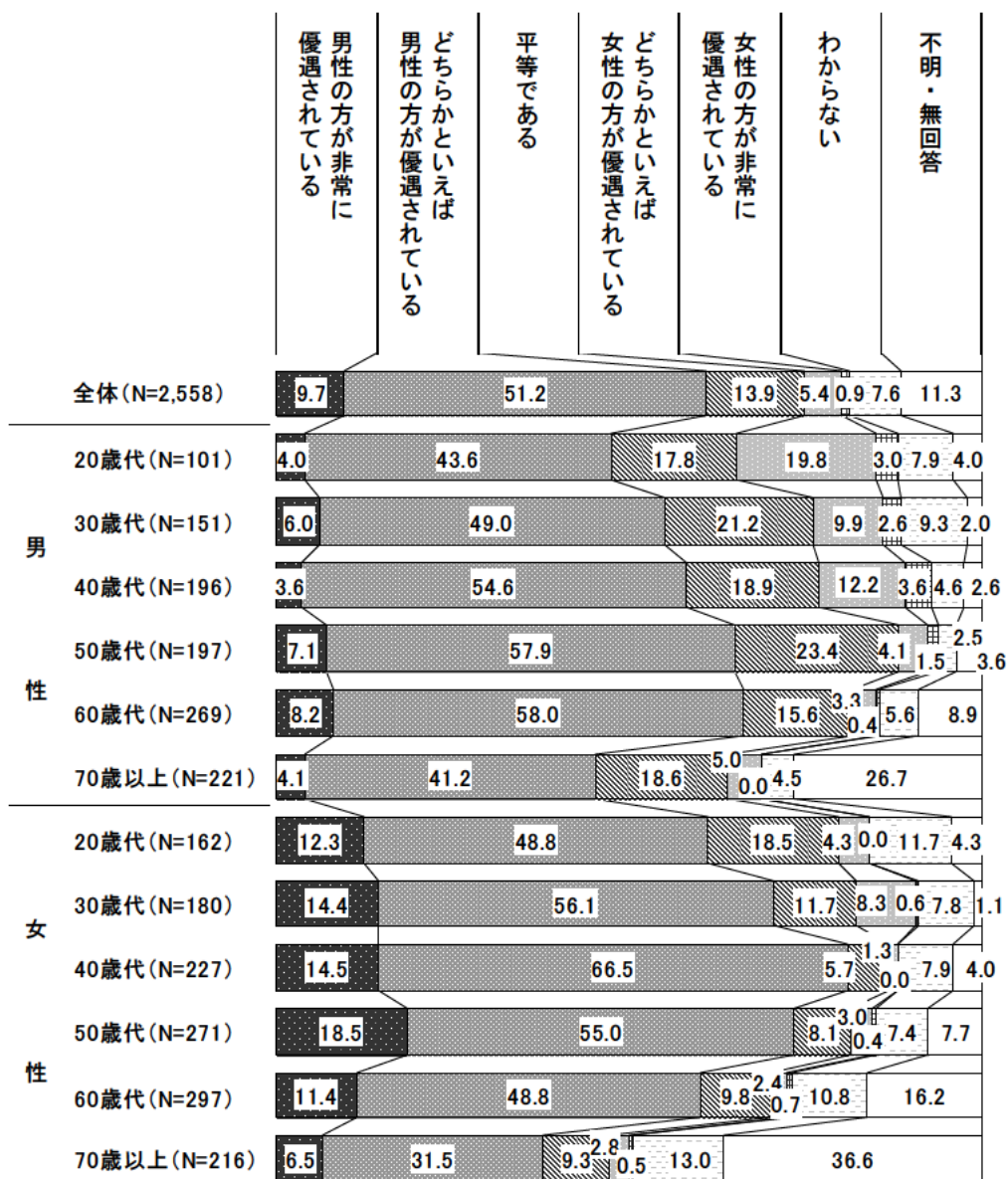
問1 男女の地位評価 E 社会通念や風潮で 【全体／性別】



単位：%

- 全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、60.9%で6割を超え、高くなっています。
- 性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（64.4%）が男性（57.4%）を7.0ポイント上回っています。

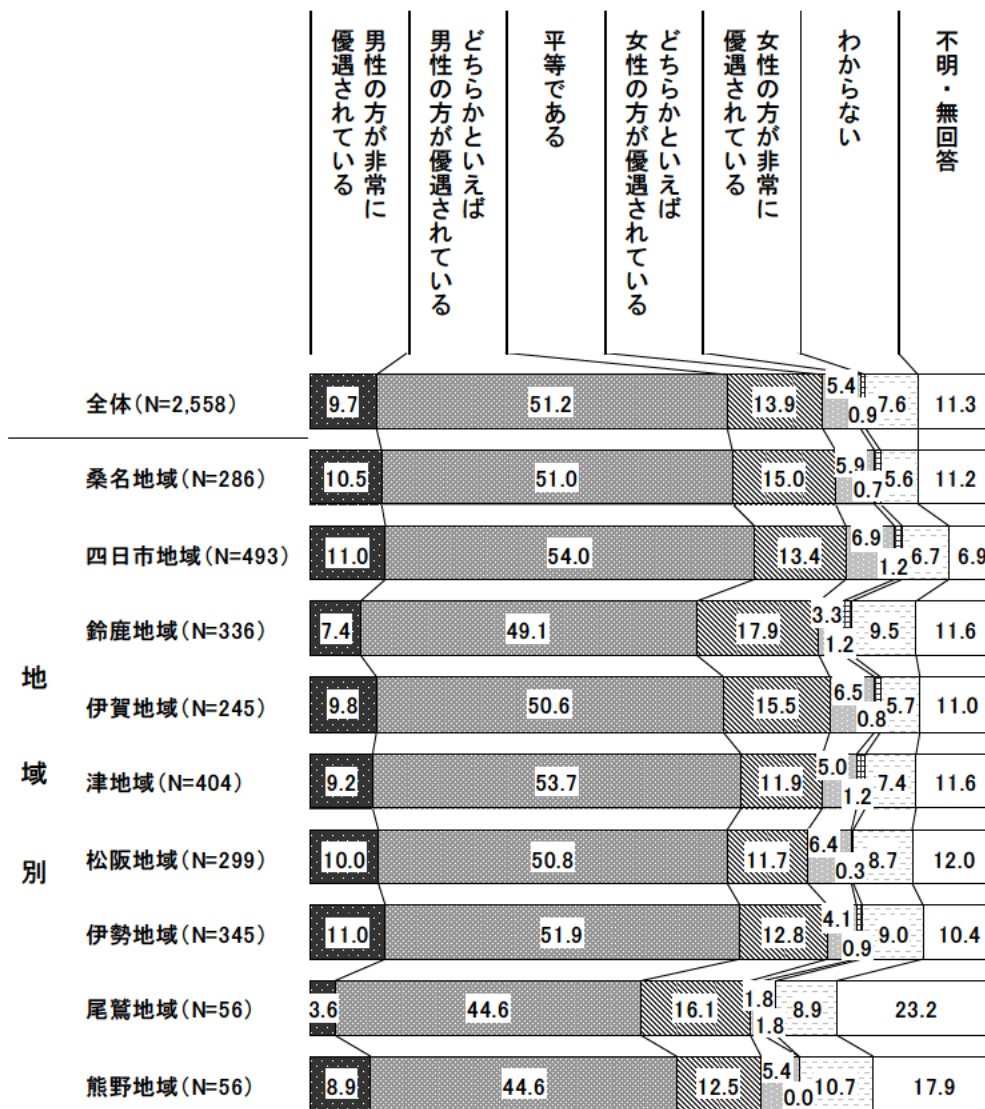
問1 男女の地位評価 E 社会通念や風潮で 【性別・年代別】



単位：%

- 性・年代別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代(81.0%)、50歳代(73.5%)、30歳代(70.5%)が7割を超え、高くなっています。
 「平等である」と答えた人の割合は、男性の50歳代(23.4%)が最も高く、女性の40歳代(5.7%)が最も低い結果となっています。

問1 男女の地位評価 E 社会通念や風潮で 【地域別】

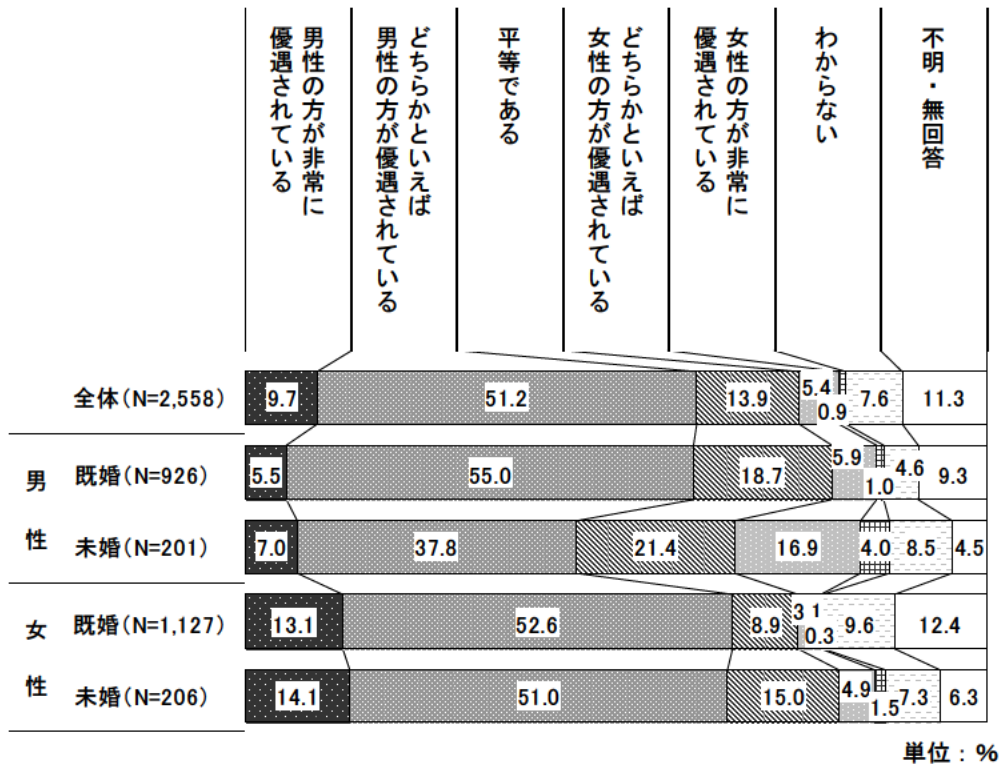


単位：%

● 地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、四日市地域（65.0%）、津地域（62.9%）、伊勢地域（62.9%）が高くなっています。

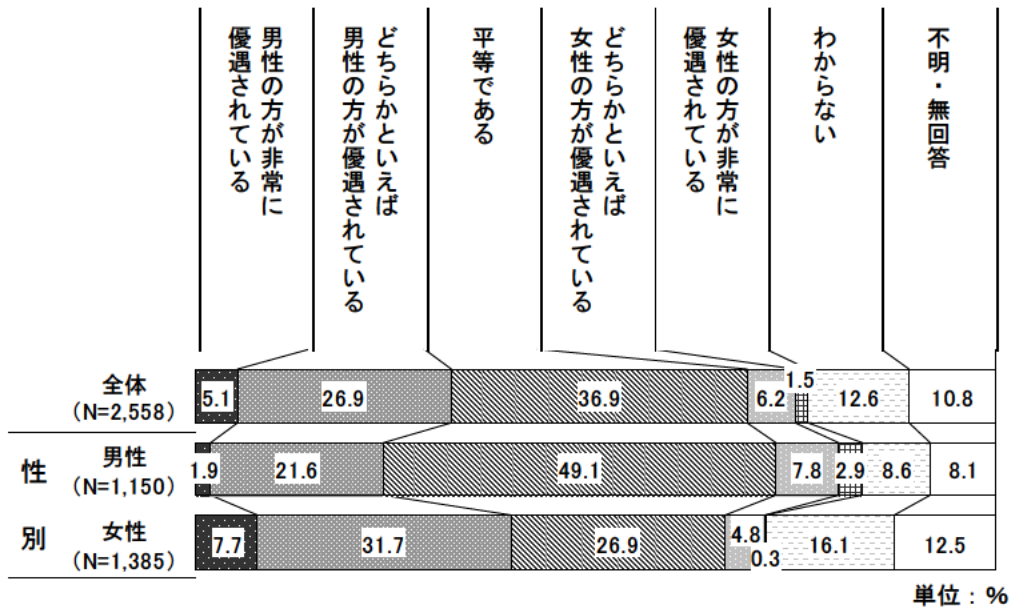
「平等である」と答えた人の割合は、鈴鹿地域（17.9%）が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 E 社会通念や風潮で 【性別・婚姻状況別】



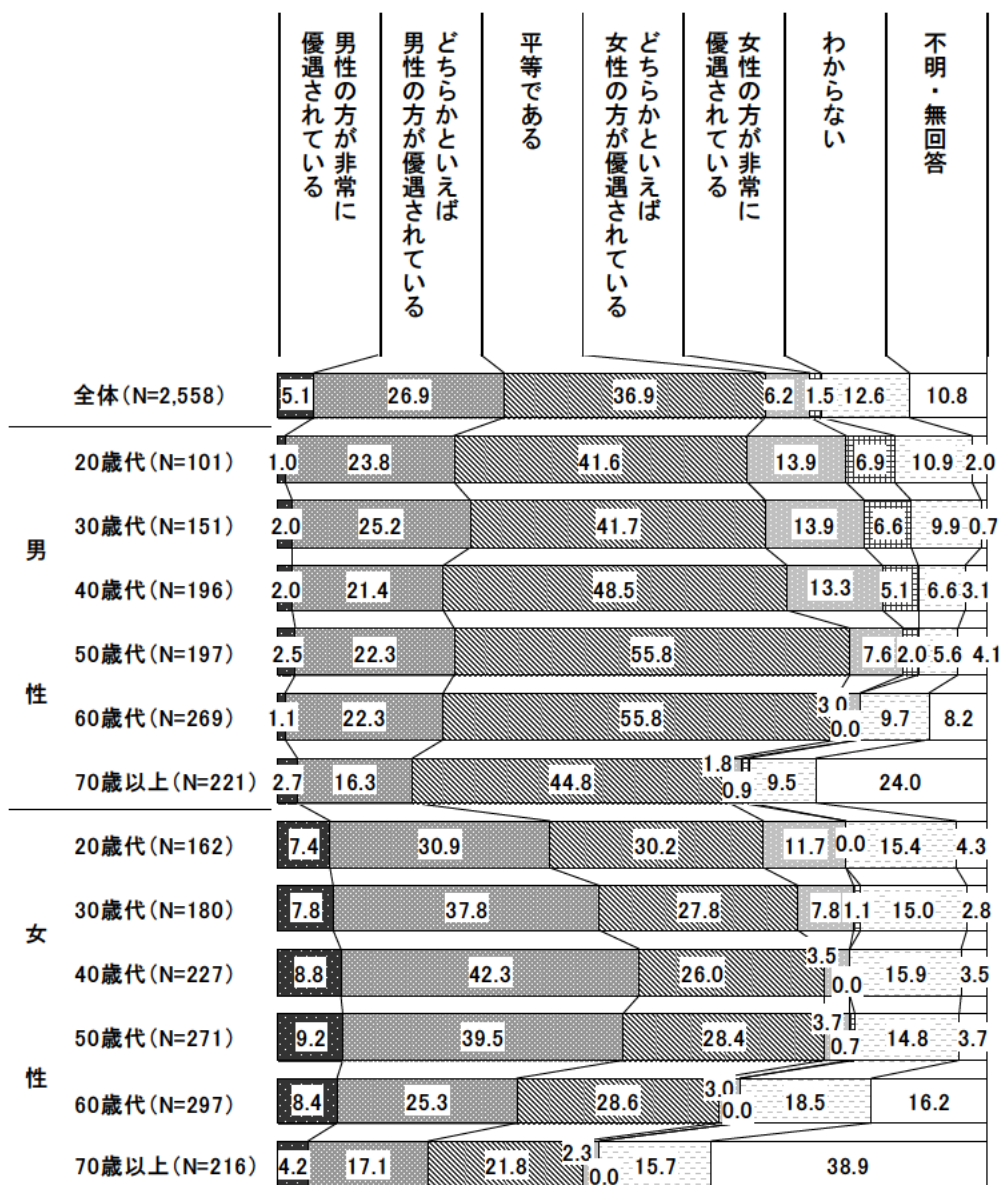
- 性・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の既婚者（65.7%）が最も高い結果となっています。
『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の未婚者（20.9%）が最も高い結果となっています。
「平等である」と答えた人の割合は、女性の既婚者（8.9%）が最も低くなっています。

問1 男女の地位評価 F 法律や制度の上で 【全体／性別】



- 全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は32.0%となっています。「平等である」と答えた人の割合は36.9%となっています。
- 性別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（39.4%）が男性（23.5%）を15.9ポイント上回っています。
「平等である」と答えた人の割合は、男性（49.1%）が女性（26.9%）を22.2ポイント上回っています。

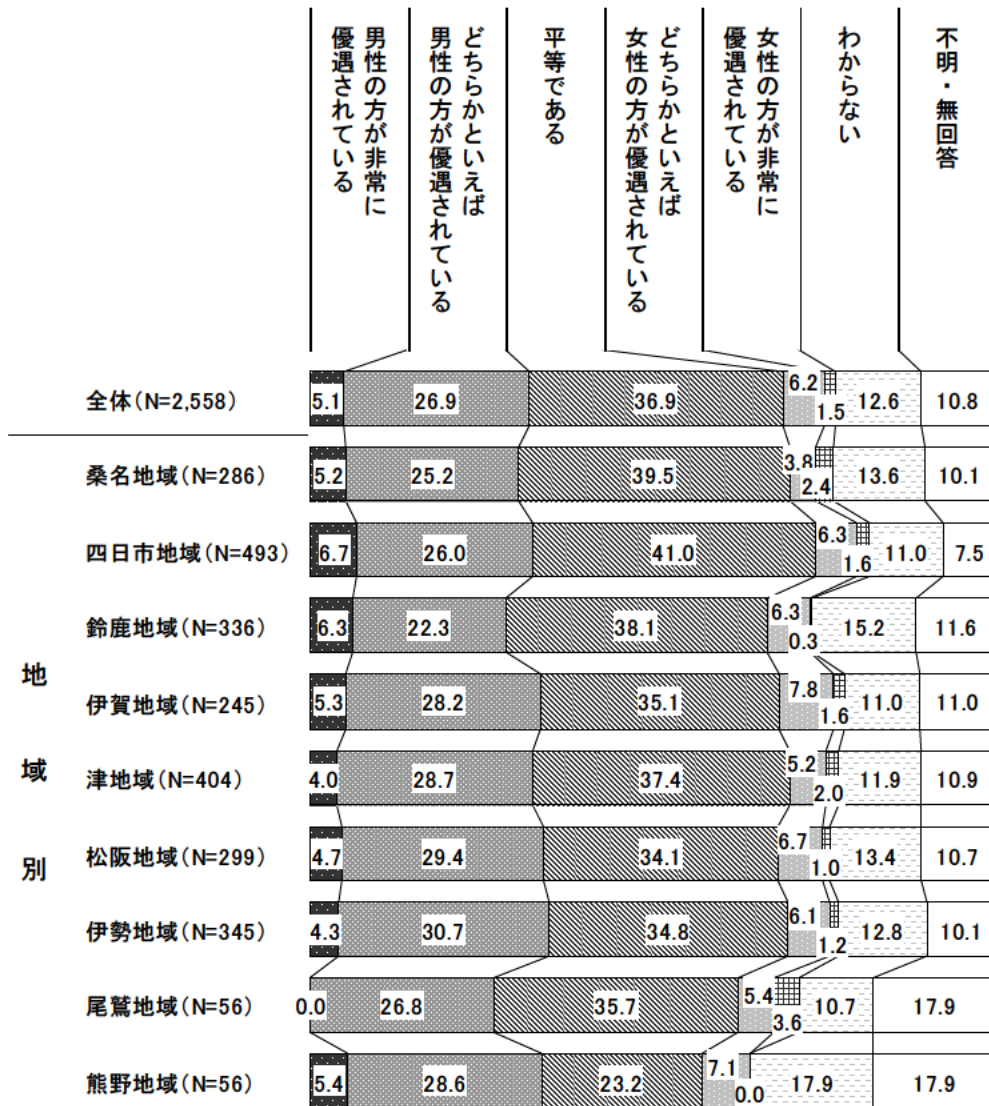
問1 男女の地位評価 F 法律や制度の上で 【性別・年代別】



単位：%

- 性・年代別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代（51.1%）が最も高く、次いで50歳代（48.7%）、30歳代（45.6%）となっています。
「平等である」と答えた人の割合は、男性の50歳代と60歳代（55.8%）が最も高い結果となっています。

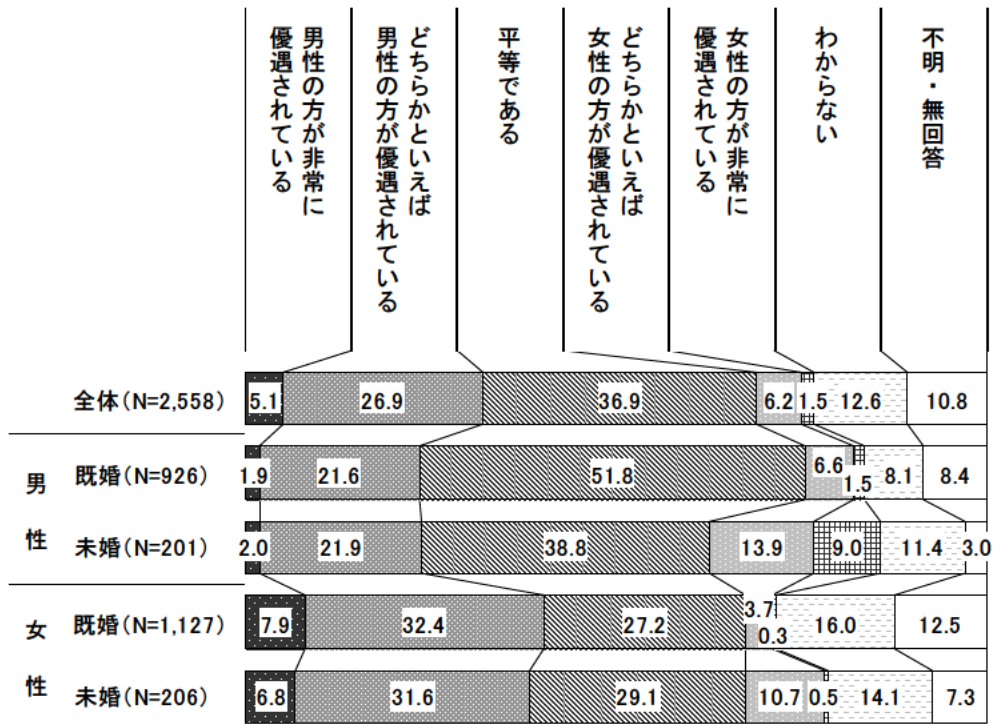
問1 男女の地位評価 F 法律や制度の上で 【地域別】



単位：%

- 地域別でみると、「平等である」と答えた人の割合は、四日市地域（41.0%）が最も高く、熊野地域（23.2%）が最も低くなっています。

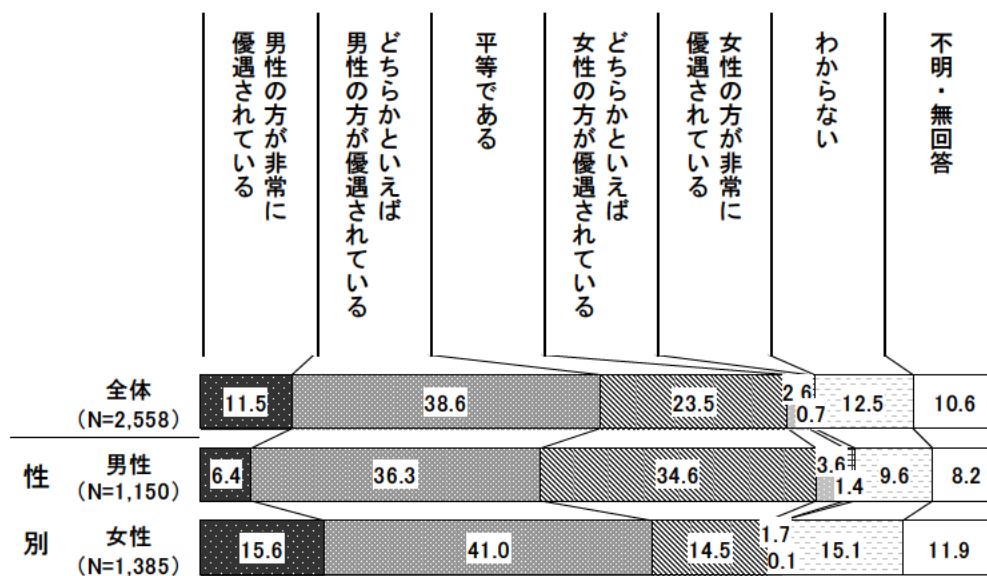
問1 男女の地位評価 F 法律や制度の上で 【性別・婚姻状況別】



単位：%

- 性・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の既婚者（40.3%）が最も高い結果となっています。
『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の未婚者（22.9%）が最も高い結果となっています。

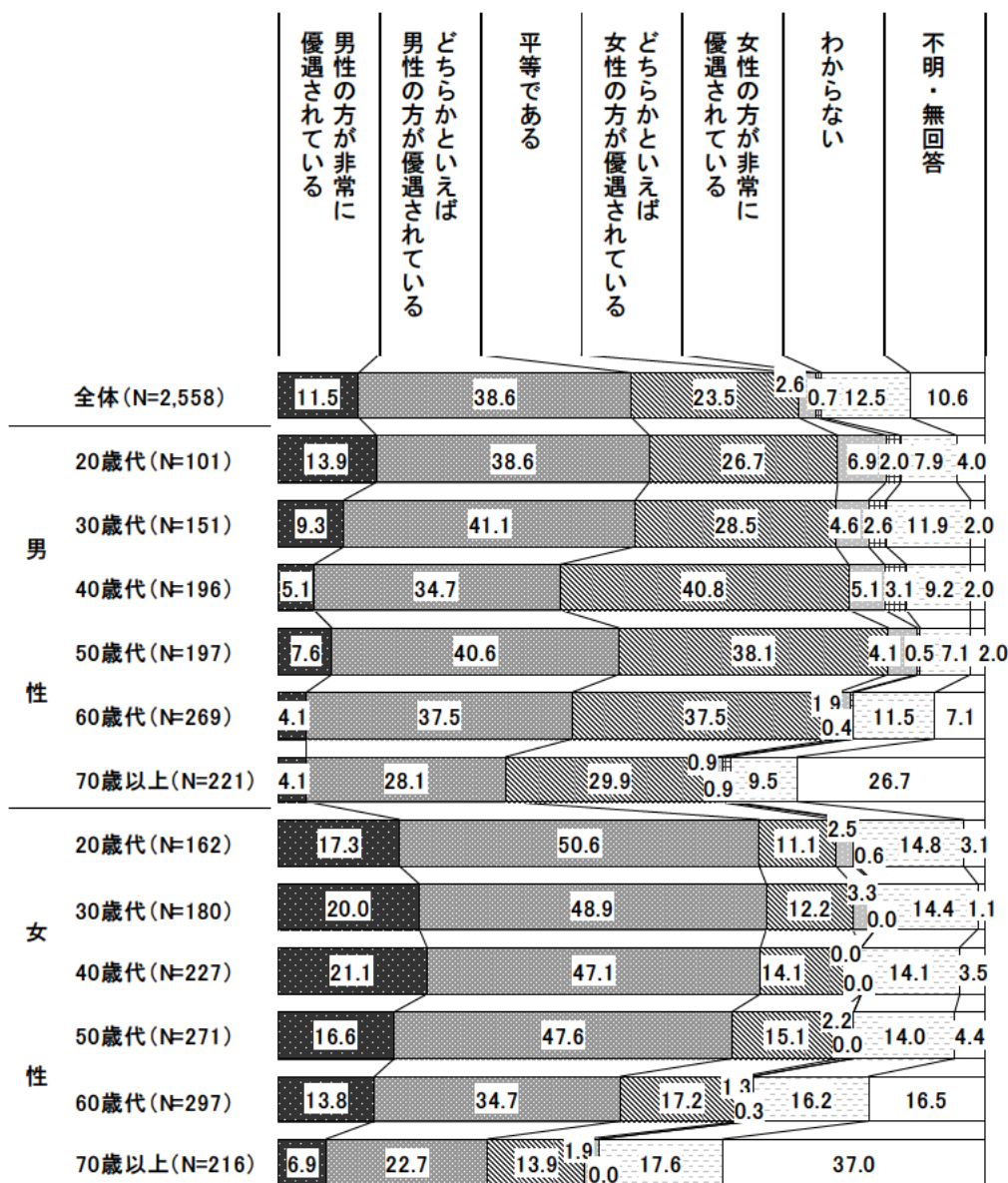
問1 男女の地位評価 G 政治(政策決定)の場で 【全体/性別】



単位：%

- 全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は50.1%となっています。「平等である」と答えた人の割合は23.5%となっています。
- 性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（56.6%）が男性（42.7%）を13.9ポイント上回っています。
「平等である」と答えた人は、男性（34.6%）が女性（14.5%）を20ポイント以上、上回っています。

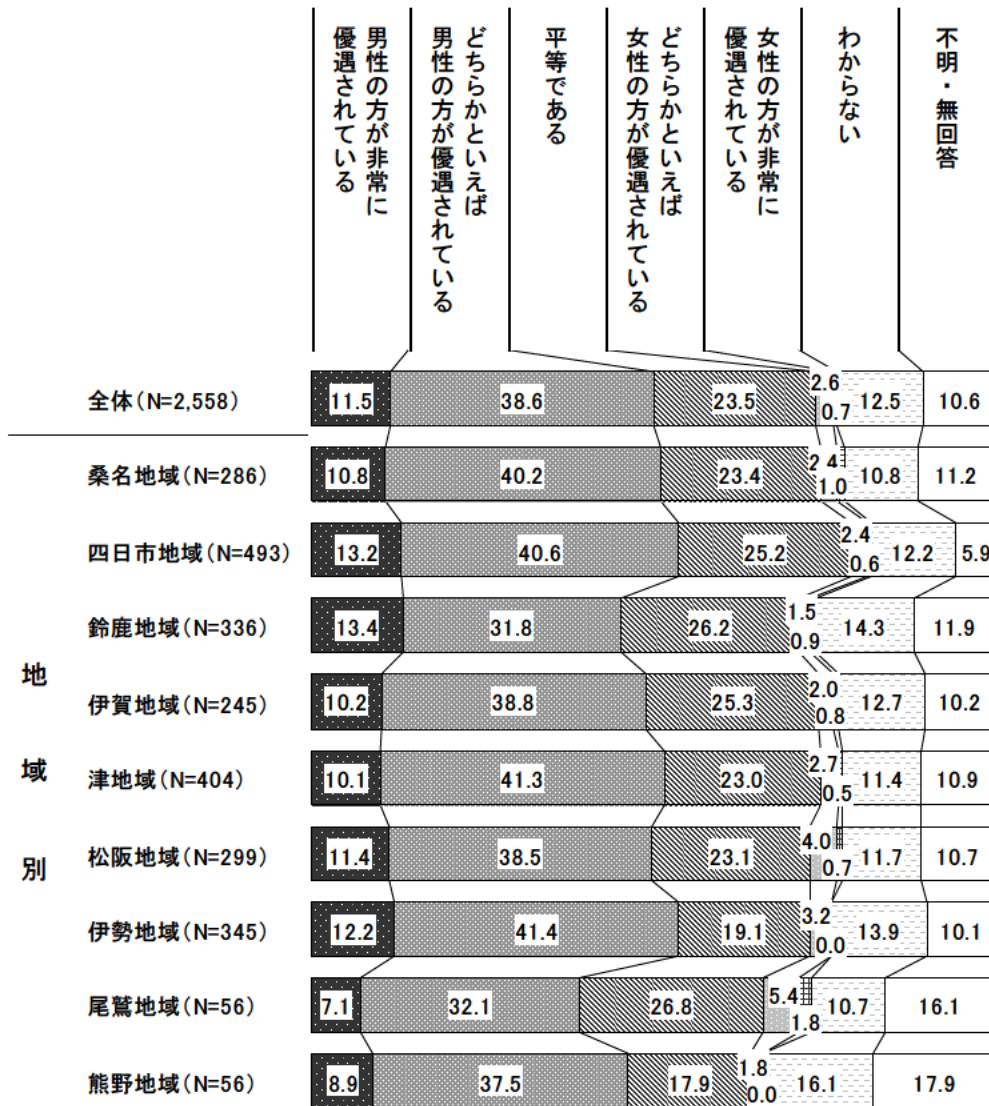
問1 男女の地位評価 G 政治(政策決定)の場で 【性別・年代別】



単位：%

- 性・年代別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の20歳代(67.9%)、30歳代(68.9%)、40歳代(68.2%)が高くなっています。
「平等である」と答えた人の割合は、男性の40歳代(40.8%)が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 G 政治(政策決定)の場で 【地域別】

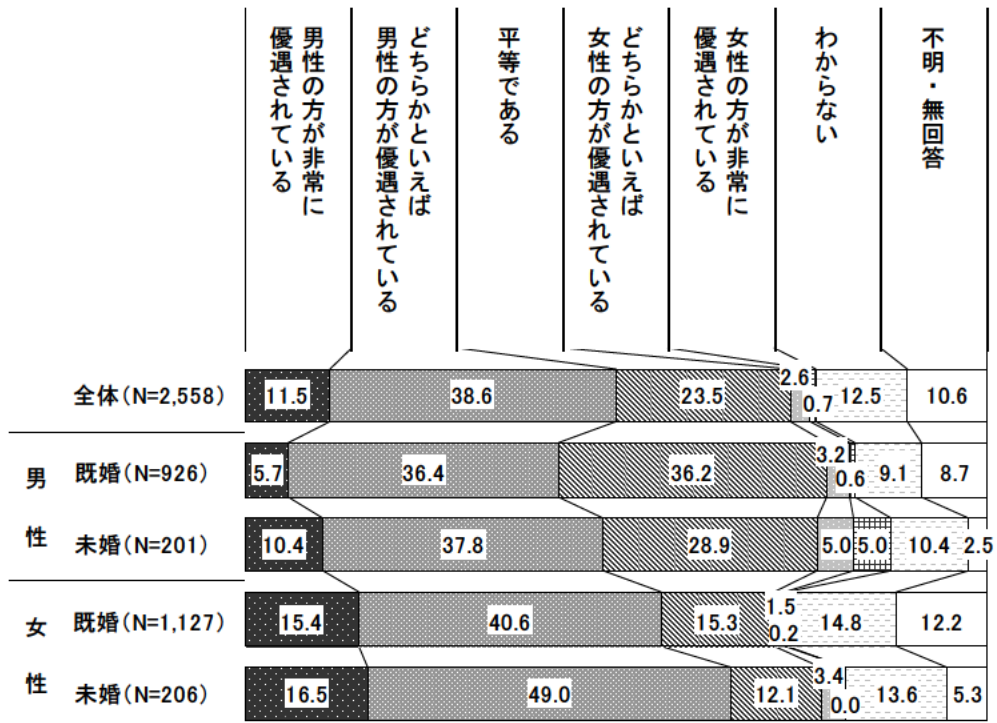


単位：%

● 地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、四日市地域 (53.8%)、伊勢地域 (53.6%) が高くなっています。

「平等である」と答えた人の割合は、尾鷲地域 (26.8%) が最も高い結果となっています。

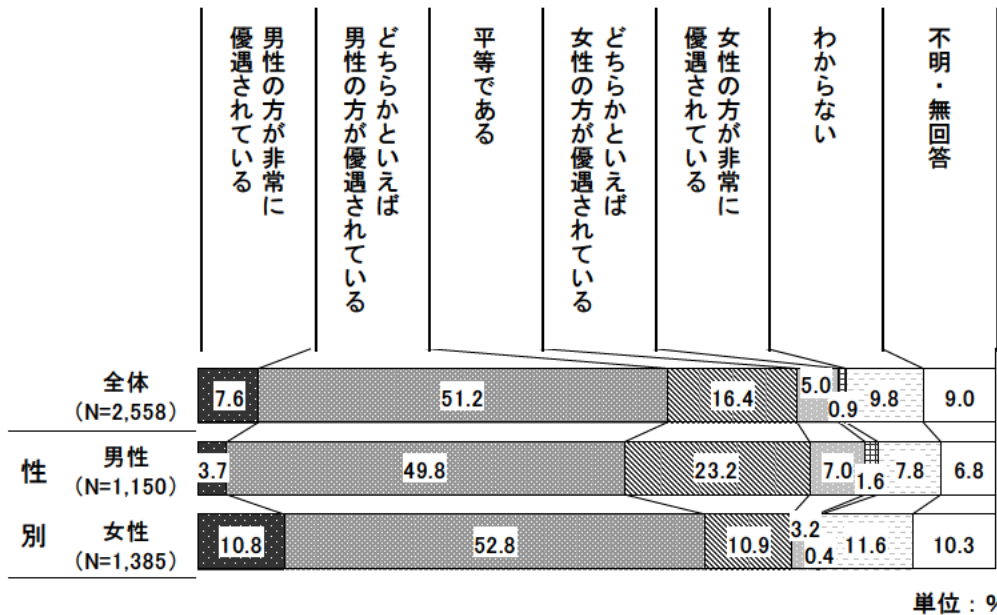
問1 男女の地位評価 G 政治(政策決定)の場で 【性別・婚姻状況別】



単位：%

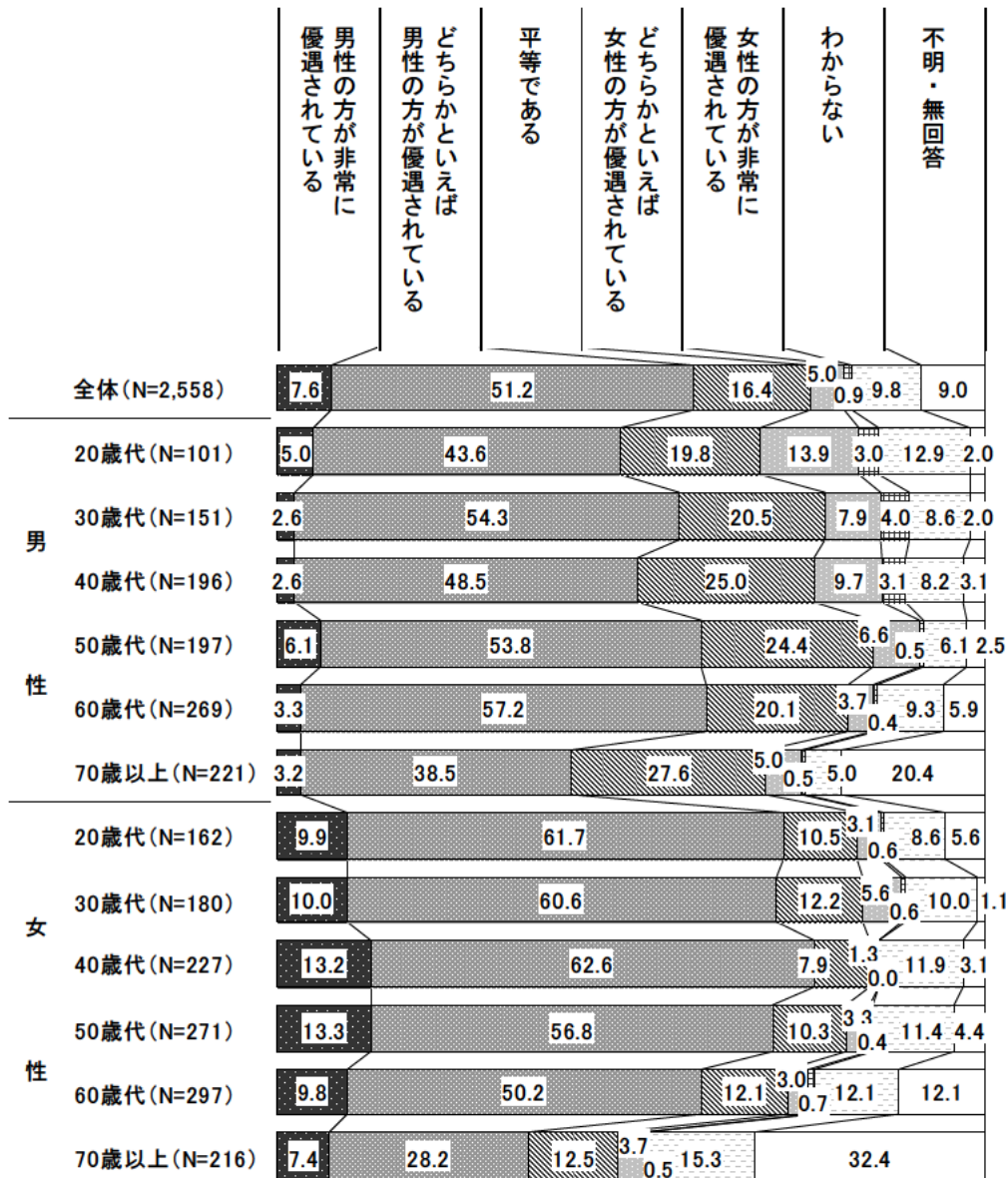
- 性・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の未婚者（65.5%）が最も高い結果となっています。
 「平等である」と答えた人の割合は、男性の既婚者（36.2%）が最も高い結果となっています。

問1 男女の地位評価 H 社会全体で 【全体／性別】



- 全体では、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合が 58.8%で高い結果となっています。
- 性別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性（63.6%）が男性（53.5%）を上回っています。
「平等である」と答えた人の割合は、男性（23.2%）が女性（10.9%）を 12.3 ポイント上回っています。

問1 男女の地位評価 H 社会全体で 【性別・年代別】

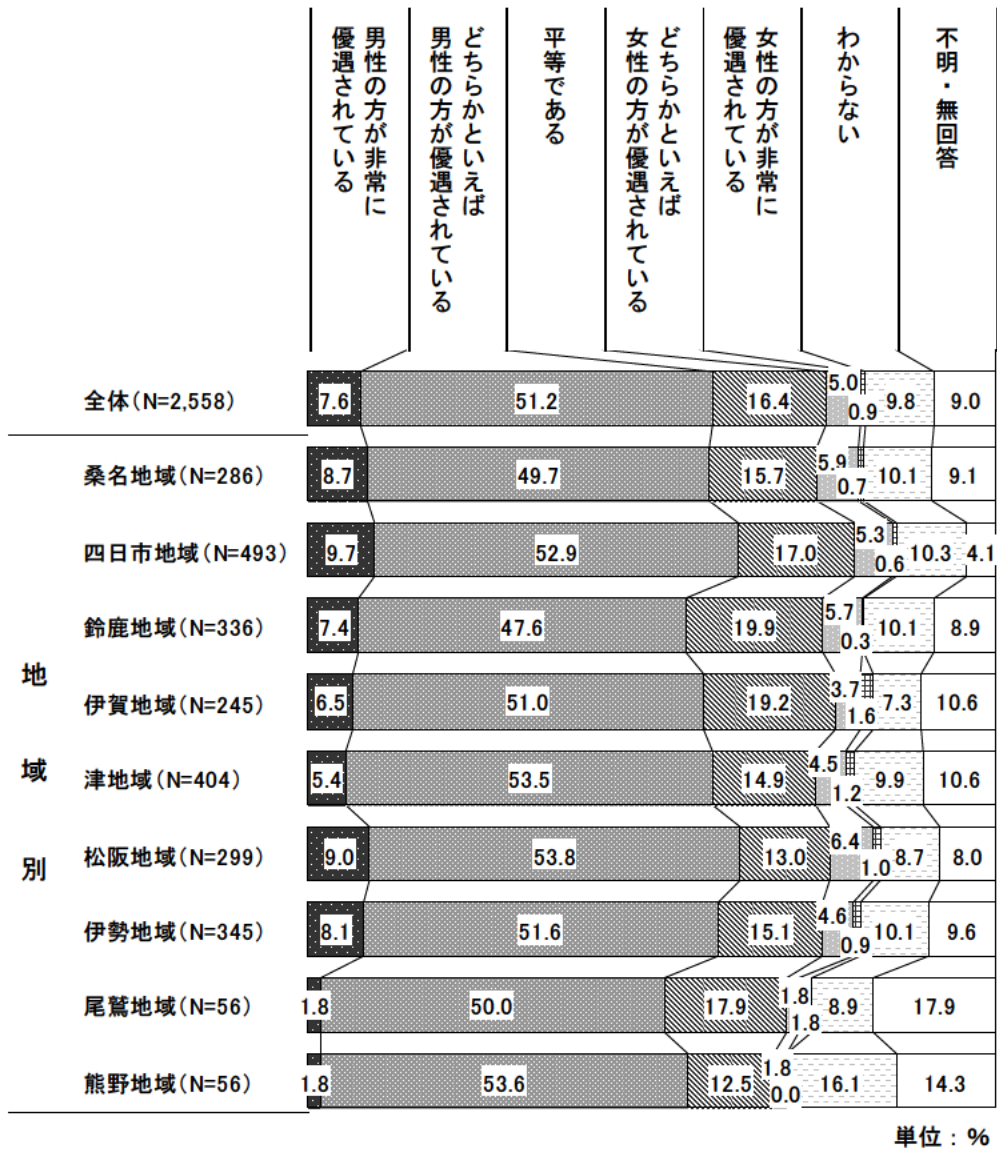


単位：%

- 性別・年代別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の40歳代(75.8%)が最も高い結果となっています。

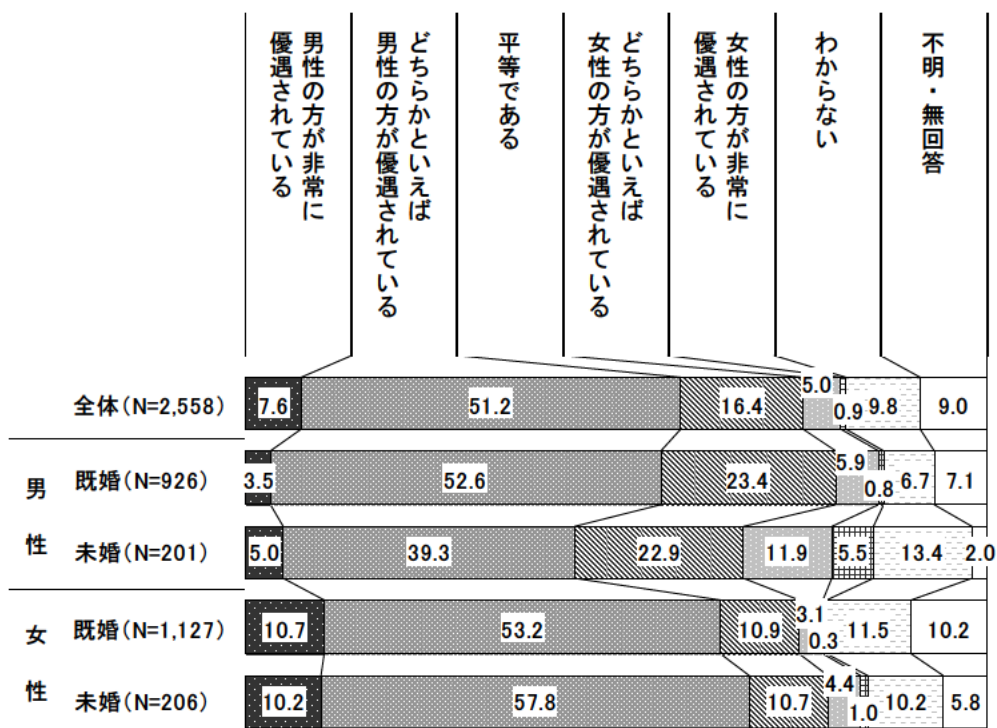
「平等である」と答えた人の割合は、男性の70歳以上(27.6%)が最も高くなっています。

問1 男女の地位評価 H 社会全体で 【地域別】



- 地域別でみると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、四日市地域 (62.6%)、松阪地域 (62.8%) が高くなっています。

問1 男女の地位評価 H 社会全体で 【性別・婚姻状況別】



単位：%

- 性・婚姻状況別で見ると、『男性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、女性の未婚者（68.0%）が最も高い結果となっています。

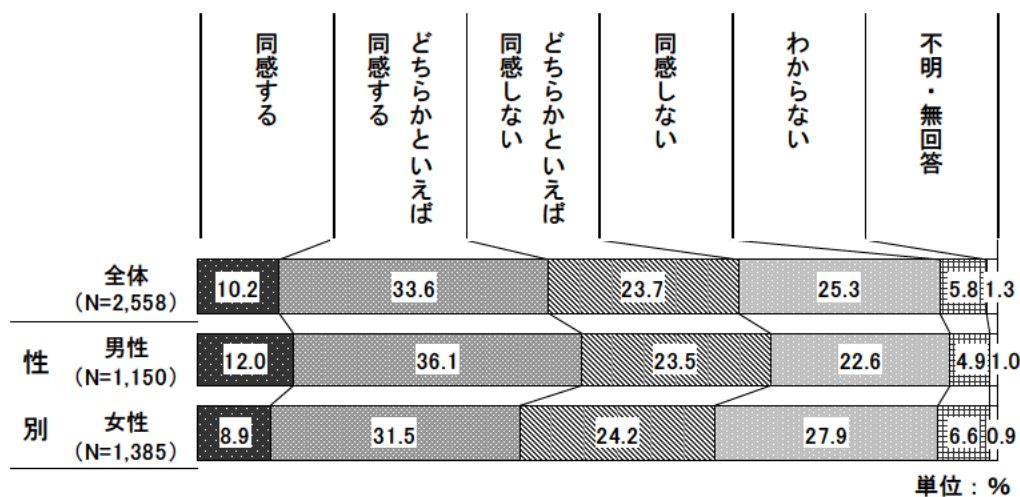
「平等である」と答えた人の割合は、男性の既婚者（23.4%）が最も高い結果となっています。

『女性の方が優遇されている』と答えた人の割合は、男性の未婚者（17.4%）が最も高い結果となっています。

(2) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

問2. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

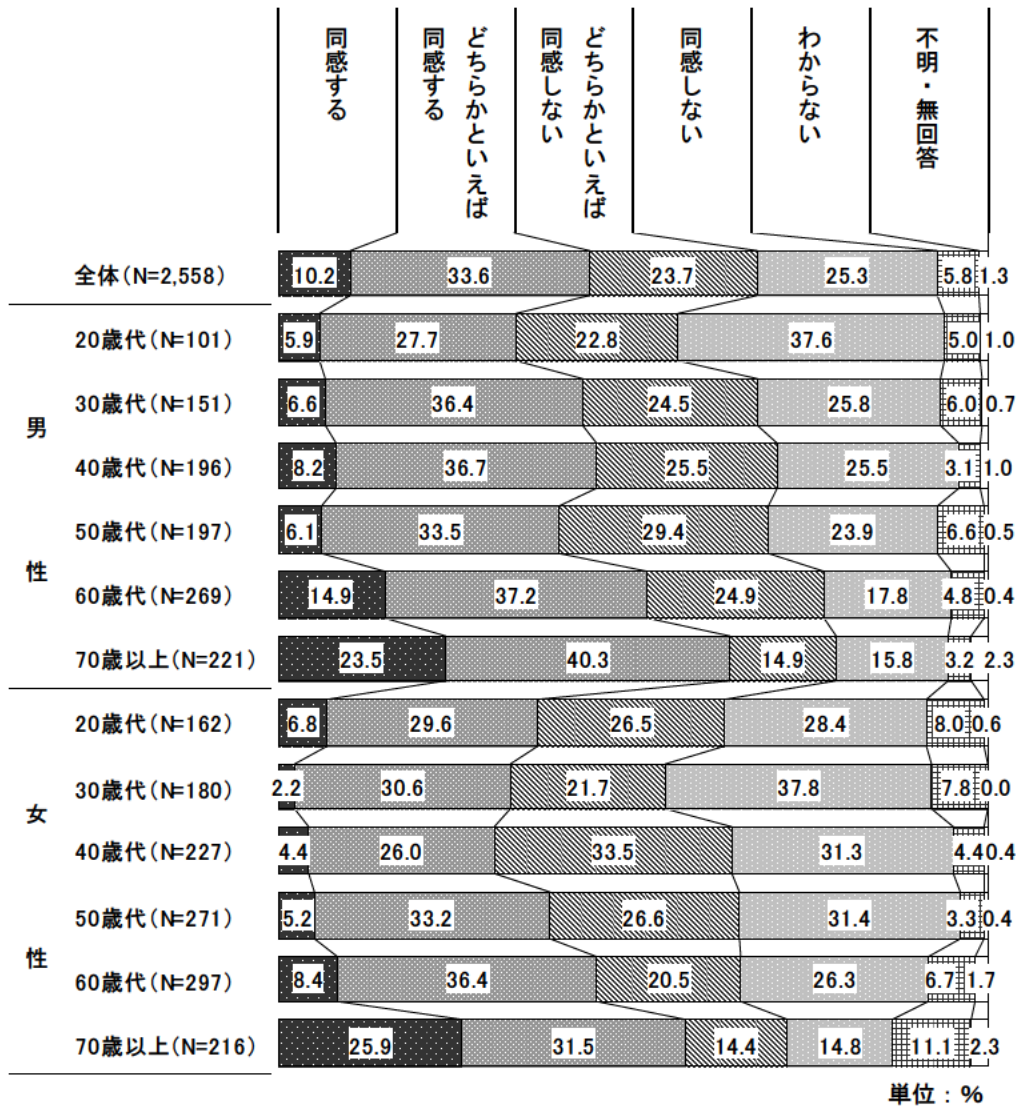
問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【全体／性別】



- 全体では、『同感する』と答えた人の割合は43.8%、『同感しない』と答えた人の割合は49.0%となっています。
- 性別でみると、『同感する』と答えた人は、男性（48.1%）が女性（40.4%）を上回っており、『同感しない』と答えた人は、女性（52.1%）が5割を超えています。

※『同感する』は、本来の選択肢の「同感する」と「どちらかといえば同感する」の割合を合計したものです。また、『同感しない』は、「どちらかといえば同感しない」と「同感しない」の割合を合計したものです。以降のページも同様。

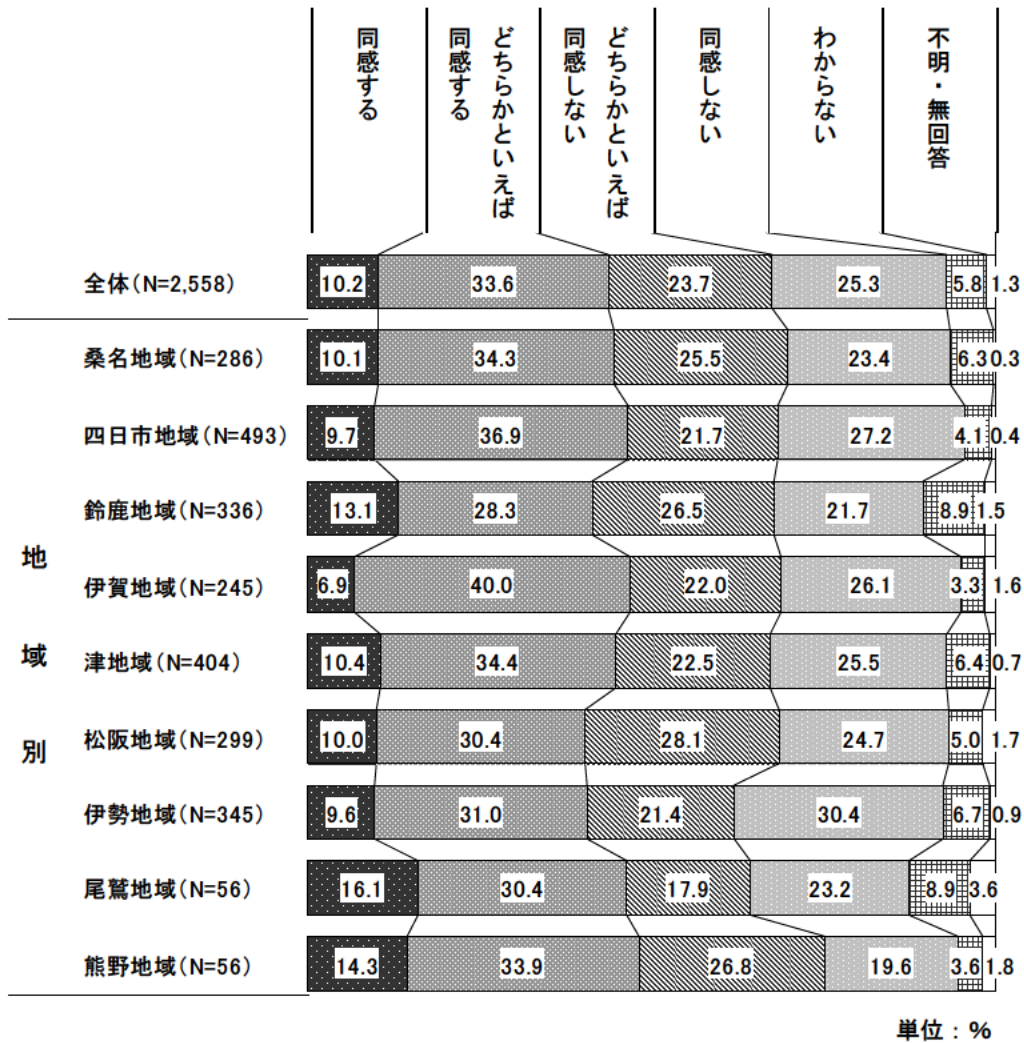
問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【性別・年代別】



- 性別・年代別でみると、『同意する』と答えた人の割合は、男性の70歳以上（63.8%）が最も高く、次いで女性の70歳以上（57.4%）が続いています。

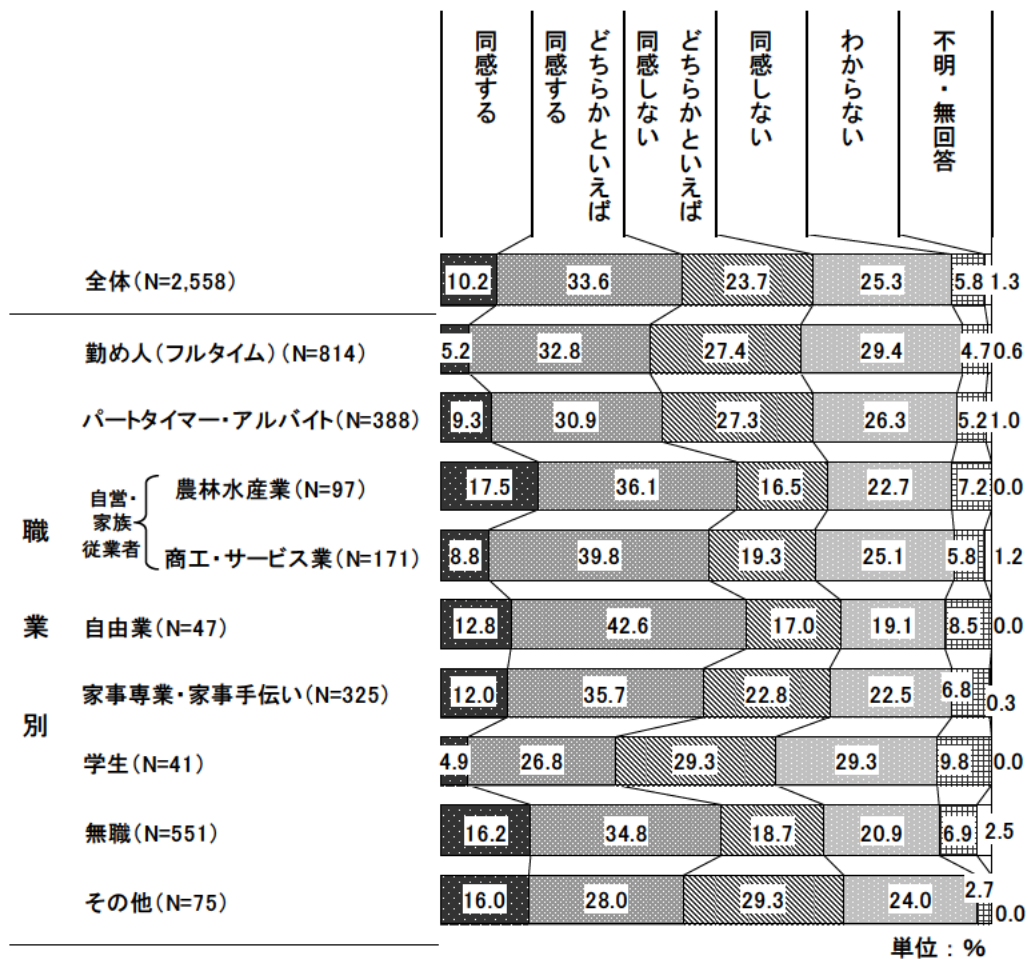
『同意しない』と答えた人の割合は、女性の40歳代（64.8%）が6割を超え、高くなっています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【地域別】



- 地域別でみると、『同意しない』と答えた人の割合は、松阪地域（52.8%）が最も高い結果となっています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【職業別】

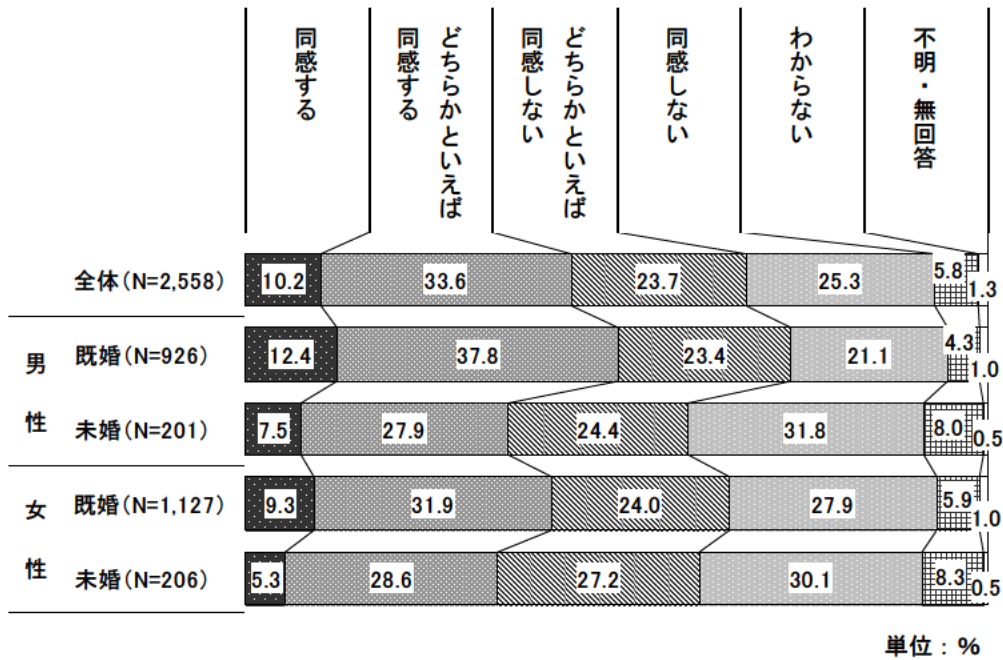


● 職業別でみると、『同意する』と答えた人の割合は、無職（51.0%）が最も高く、次いで、商工・サービス業（48.6%）となっています。

『同意しない』と答えた人の割合は、勤め人（56.8%）、パートタイマー・アルバイト（53.6%）が5割以上と高くなっています。

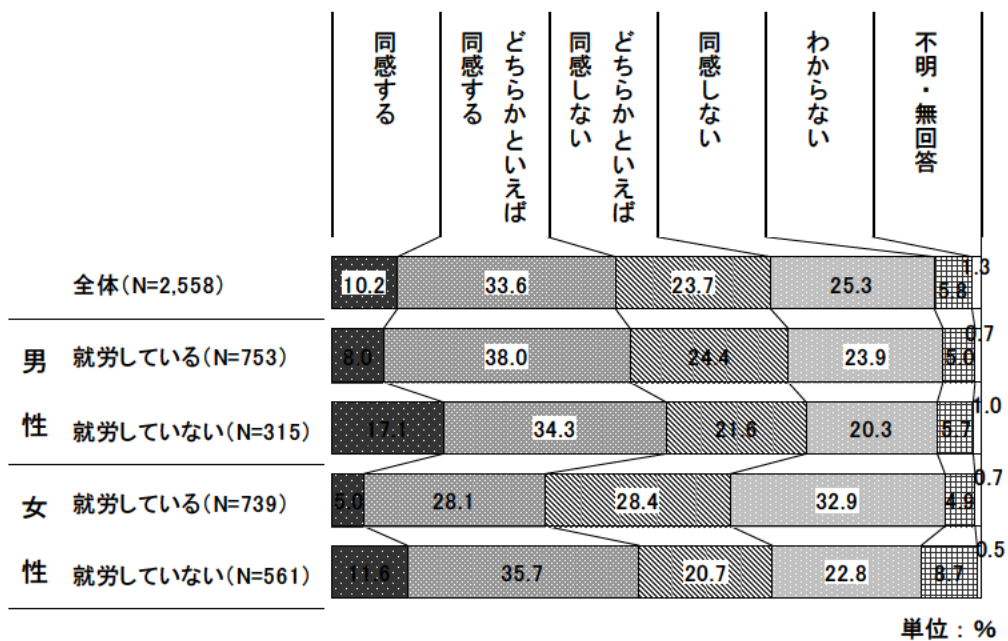
※自由業、学生、その他は件数が少ないため、分析対象から除いています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【性別・婚姻状況別】



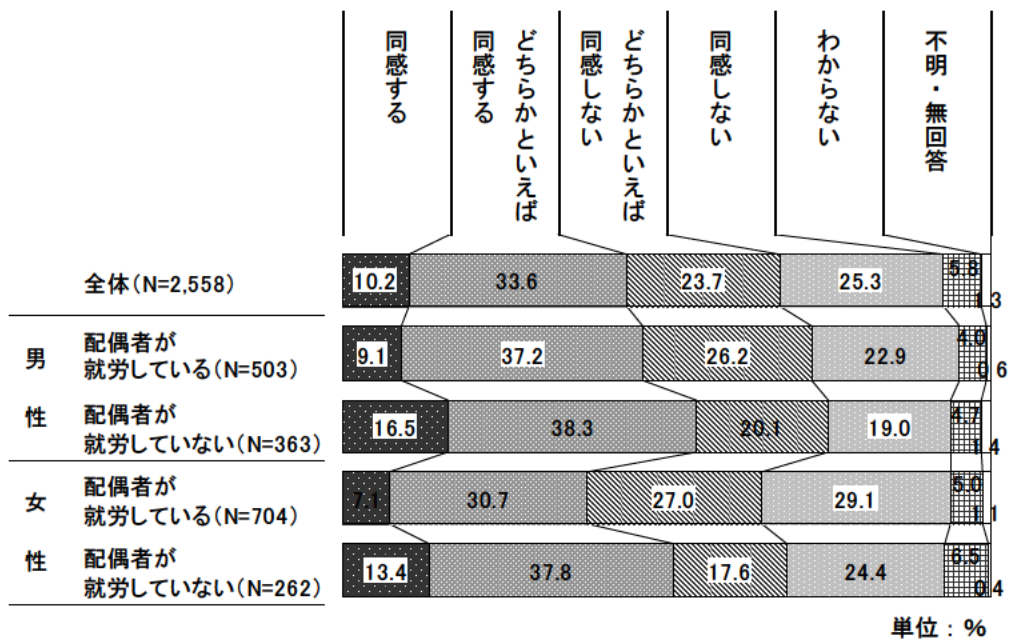
- 性・婚姻状況別でみると、『同感する』と答えた人の割合は、男性の既婚者（50.2%）が最も高く、『同感しない』と答えた人の割合は、女性の未婚者（57.3%）が最も高い結果となっています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【性別・就労状況別】



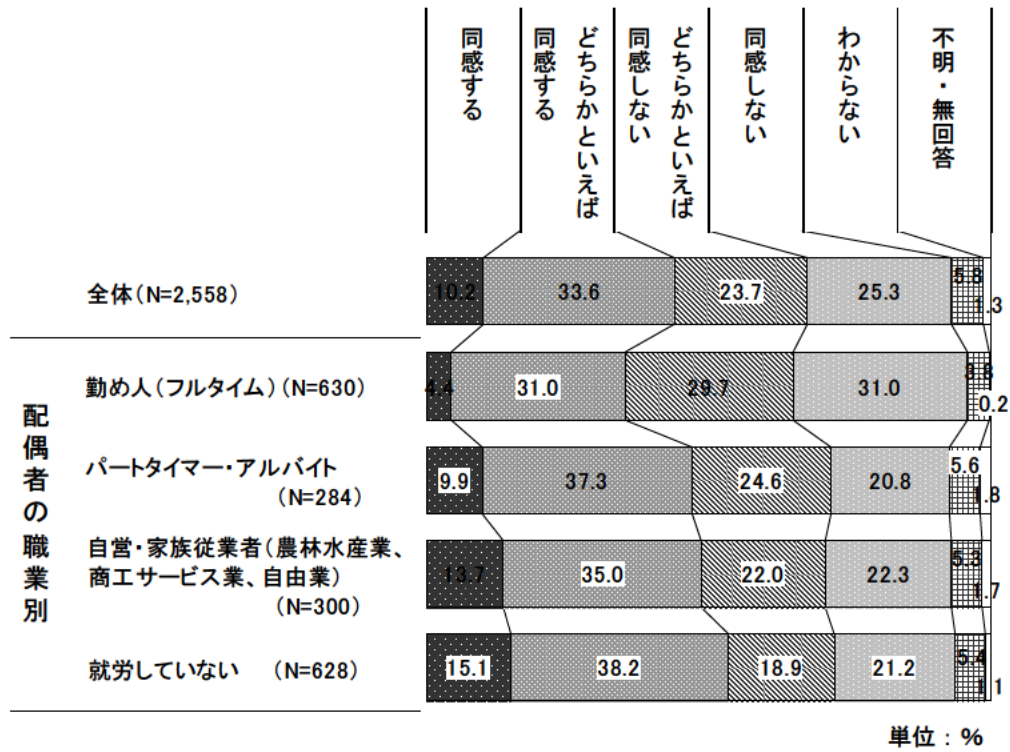
- 性・就労状況別でみると、『同感する』と答えた人の割合は、男性の就労していない（51.4%）が最も高く、『同感しない』と答えた人の割合は、女性の就労している（61.3%）が最も高い結果となっています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【性別・配偶者の就労状況別】



- 性別・配偶者の就労状況別でみると、『同意する』と答えた人の割合は、男性の配偶者が就労していない (54.8%) が最も高く、『同意しない』と答えた人の割合は、女性の配偶者が就労している (56.1%) が最も高い結果となっています。

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について 【配偶者の職業別】



- 配偶者の職業別でみると、『同意する』と答えた人の割合は、配偶者が就労していない(53.3%)が最も高く、『同意しない』と答えた人の割合は、配偶者が勤め人(フルタイム)(60.7%)が最も高い結果となっています。